

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 現代の国語	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		新編現代の国語 [現国701]
						なし

学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	『ルリボシカミキリの青』	- 随筆の読み方の習得する。 - 語句の意味の習得。 - 筆者が少年の頃に熱中していたものから、現在につながっているものを読み取る。 - 世界のありようを理解し、記述する方法を読み取る。	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	2	『無彩の色』	- 評論文の読み方の習得する。 - 語句の意味の習得。 - 段落構成から本文の内容を読み取る。 - ネズミ色が持つイメージについて読み取る。 - 日本文化の中での灰色とはどういうものかを読み取る。	
2	3	『こそそめスープ』	- 随想の読み方を習得する。 - 語句の意味の習得。 「こそそめスープ」とは筆者にとって何かを読み取る。 - 人は自分の作り上げた思い込みの世界で暮らしているところがあるということを、読み手の経験と照らし合わせながら、人はそれぞれ違う考えや価値観を持っていることを理解する。	

S	R	単 元	内 容	評 価
2	4	『水の東西』	・評論文の読み方を習得する。 ・語句の意味の習得。 ・段落構成 ・日本人と西洋人にとっての「水」とはどのような感じ方の違いがあるか、読み取る。 ・筆者の主張とは何かを読み取る。	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
3	5	『りんごのほっぺ』	・随想の読み方を習得する。 ・語句の意味の習得。 ・筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・時間の順序に注意して内容を整理する。 ・戦争体験を語り継ぐことの意義を考える。	【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	6	『真の自立とは』	・評論文の読み方を習得する。 ・語句の意味の習得。 ・段落構成 ・社会の変化と現代の子どもたちは抱える不安とは何かを読み取る。 ・私たちが真に自立的になり、生きていく意味を得ることができるとはどういうことか読み取る。	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 言語文化	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		新編言語文化 [言文701]
						なし

学習目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	【1】羅生門 - 元になった古典作品と読み比べよう 「羅生門」のストーリー概要を理解する - 小説の基本設定を理解する - 登場人物の内面の変化を、そのきっかけと関連付けて第二段を読み取る 「下人」と「老婆」の行動にそって第三段、第四段を読み取る 「老婆」の主張と「下人」の状況と目的とを関連付けて第三段を読み取る - 第四段を読んで、最後の一文について考える - 主題について考える		観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	2	【1】古典のしるべ - 歴史的仮名遣い - いろは歌 - 古語について - 用言の活用 - 用言の活用の種類 【2】用光と白波 「筆策」について確認する - 用光と海賊の行動および心情を読み取る - 話末評語の意味と作者の意図を考える	○教科書124頁 ○NHK高校講座「古文に親しむ」 ○TOHレポート2の視聴 ○教科書126頁 ○NHK高校講座「今鏡 用光と白波」	
2	3	【1】短歌 - 助詞の使い方 - 歌意 - 短歌の修辞法 - 短歌の句切れ 【2】俳句 - 作者 - 季語 - 俳句の評価について - 俳諧に関連する人物名	○教科書50頁 ○NHK高校講座「短歌・俳句の読み方」 ○教科書54頁 ○NHK高校講座「柳あをめる」 ○NHK高校講座「雪の深さを」 ○TOHレポート3の視聴	

S	R	単 元	内 容	評 価
2	4	【1】児のそら寝 ・ 古時刻 ・ 口語訳 ・ 内容理解 ・ 出展 【2】和歌 ・ 和歌の句切れについて ・ 和歌の修辞法 ・ 和歌作品の選出 ・ 和歌の作成	○ 教科書122頁 ○ NHK高校講座「児のそら寝」 ○ 教科書164頁 ○ NHK高校講座「折々のうた万葉集」 ○ NHK高校講座「折々のうた古今和歌集」 ○ NHK高校講座「折々のうた新古今和歌集」	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
3	5	【1】漢文入門 ・ 漢文について ・ 書き下し文について ・ 訓読の仕方 【2】漢文演習 ・ 【1】で学んだことを活かし、演習	○ 教科書210頁 ○ NHK高校講座「訓読の基本(1)訓読」 ○ NHK高校講座「訓読の基本(2)格言」 ○ 教科書212頁 返り点の位置に注意して訓読する	【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	6	【1】漢文入門 故事-守株- ・ 書き下し文 ・ 現代語訳 ・ 故事成語 【2】漢文発展 故事-五十歩百歩- ・ 文章題の演習 ・ 置き字	○ 教科書220頁 ○ NHK高校講座「故事成語「守株」(韓非子)」 ○ 教科書222頁 ○ NHK高校講座「故事成語「五十歩百歩」(孟子)」	
実習	なし		なし	
-	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 論理国語	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	2	通		新編論理国語 [論国701]
						なし

学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	【1】対話とは何か - 本文の概要を把握する 「他者不在の言語活動」について理解 「対話」と「おしゃべり」の違いを理解 「対話成立のポイント」を理解 「他者存在としての相手の領域に大きく踏み込む行為」を理解する - 筆者が「対話」の意義をどのように捉えているか理解する	- 教科書8頁 - TOHレポート1の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
	2	【1】「ふしぎ」ということ - 本文の概要を把握する - 具体例による説明力所を把握 - 全体の構成について理解する 「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解する 「ふしぎ」ということと「わかった」という体験の関係を把握する 「物語」の意味するところを理解 - 自然科学の方法と神話の違いを理解	- 教科書37頁 - TOHレポート2の視聴	【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	3	【1】ラップトップを抱えた『石器人』 「リスクの認識」に対する筆者の考えを読み取る 「ギャンブラーの誤謬」の例によって筆者が何を示しているかを読み取る 「ヒューマンエラー」についての筆者の考えを読み取る 「物質文明、技術文明」の進歩と「人間の脳」の進化との関係を読み取る 「ラップトップを抱えた『石器人』」について考える	- 教科書66頁 - TOHレポート3の視聴	
3	4	【1】思考の「肺活量」 「哲学」の必要性を読み取る 「問い」の重要性を理解する - 思考の「肺活量」という比喻の内実を読み取る - 論旨を把握しよう	- 教科書76頁 - TOHレポート4の視聴	

S	R	単 元	内 容	評 価
3	5	【1】弱肉強食は自然の摂理か ・「弱肉強食」に関する「大きな疑問」を理解する ・「強さの尺度」にどのような力を選ぶかで結論が変わることを理解する ・「統一的な強さの尺度」が必要となる理由を読み取る ・ハフェーカーの実験によって綺麗化した内容を読み取る ・「〈弱肉強食論〉は自然の摂理ではない」といえる根拠について読み取る	○ 教科書102頁 ○ TOHレポート5の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
	6	【1】楽に働くこと、楽しく働くこと ・「楽に働くこと、楽しく働くこと」で取り上げられている事柄に関心を持ち、文章の大意を理解する。 ・内山節の文書を読んで「労働」についての考え方を把握する ・白鷹幸伯の文章を読んで、「働く」ことの意味について考える	○ 教科書132頁 ○ TOHレポート6の視聴	
5	7	【1】最初のペンギン ・「人間」と「神」、「人間」と「コンピュータ」等の対立図式を正確に読み取る ・筆者の語る「創造」という主題を的確につかむ ・人間の有限性を理解する ・「最初のペンギン」という言葉に込められたメッセージを読み取る ・「創造」という主題についての筆者の見解を正確に読み取る	○ 教科書168頁 ○ TOHレポート7の視聴	
	8	【1】カフェの開店時間 ・筆者がどこにいて、何を見ていたかという状況を読み取る ・筆者がカフェの開店準備をする女性に対してどういうことを感じたのかを読み取る ・「普段隠れている行為」に関心を持ち、その意味について筆者がどのように考えているか理解する ・「現在」というものを筆者がどのようにとらえているかを理解する ・筆者の考えを理解する	○ 教科書193頁 ○ TOHレポート8の視聴	

S	R	単 元	内 容	評 価
6	9	【1】鑑としてのアンドロイド ・筆者の定期する話題について理解する ・筆者が具体例ヲどのように抽象化しているかを捉える ・「人間」と「アンドロイド」の対比を読み取る ・筆者の考える「心」とは何かを理解する ・「何かを作り出す」ことについての筆者の考えを理解する ・本文全体の構成について理解する	○ 教科書210頁 ○ TOHレポート9の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
7	10	【1】言葉は『ものの名前』ではない ・伝統的な言語観を確認する ・問題提起の内容を読み取る ・「もの」が先とはいえないことを、具体例に基づいて確認する ・言葉と「もの」の関係を理解する ・星座ノたとえを元にソシュールの言語観をまとめる	○ 教科書232頁 ○ TOHレポート10の視聴	【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	11	【1】もう一つの知性 ・情報化社会の現状を知る ・情報化社会における「知性」の実態を理解する ・人間の知性の本来の在り方を理解する ・社会が近代化するにつれて知性がどのように変化したかを理解する ・筆者の提唱する新しい知性の在り方について考える	○ 教科書271頁 ○ TOHレポート11の視聴	
8	12	【1】ホンモノのおカネの作り方 ・この文章がなにについてのもので、そのことに関してどういう方向で論を展開しようとしているのかを確認する ・本段の構成上の役割を理解する ・用語の意味を的確に把握する ・ニセガネと貨幣の本質を理解する ・「逆説の作用」がホンモノを作り続けるということを的確に理解し、筆者がこの「極意」を解説した意図を検討する	○ 教科書282頁 ○ TOHレポート12の視聴	
実習	なし		なし	
4	-			

試験	2回	通年	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 年間指導計画

つくば開成福岡高等学校

対象クラス	B1	B2	B3	B5	B6	B9	B9		履修区分	必修・標準科目	TOH動画	4回
S担当	森田	小野澤	寺師	森田	森田	中尾	中尾		R作成者	小野澤	T作成者	小野澤

S			R	指 導 内 容
特1	CD1		1	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○文脈を捉えながら、本文中の空欄に適語を補充する。 ○設問に沿って、指示語、読解問題を解説し、理解を深める。
特2	CD2	本1	2	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○接続語の正しい使い方を学び、読解の助けにもなることを学ぶ。 ○文脈を捉えながら、本文中の空欄に適語を補充する。 ○設問に沿って、指示語、読解問題を解説し、理解を深める。
特3	CD3	本2	3	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○接続語の正しい使い方を学び、読解の助けにもなることを学ぶ。 ○文脈を捉え、「ギャンブラーの誤謬」について理解する。 ○「物質文明の発展に騙されるな」について理解する。 ○キーワードに注意し、「現代人」を「ラップトップを抱えた石器人」という意味を理解する。
特4	CD4		4	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○対義語を作る。 ○ことわざの空欄に適語を補充し、ことわざを完成させる。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○「哲学」が必要な時について考える。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○キーワードに注意し、本文の読解をする。

S			R	指 導 内 容
特1	CD1	本1	5	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○対義語を作る。 ○ことわざの空欄に適語を補充し、ことわざを完成させる。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○キーワードに注意し、本文の読解をする。
特2	CD2		6	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○対義語を作る。 ○ことわざの空欄に適語を補充し、ことわざを完成させる。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○キーワードに注意し、本文の読解をする。
特3	CD3		7	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○対義語を作る。 ○ことわざの空欄に適語を補充し、ことわざを完成させる。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○文脈を捉え、各設問に答える。筆者が読者に送っているメッセージについて考える。
特4	CD4		8	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○文脈を捉え、各設問に答える。筆者が読者に送っているメッセージについて考える。

S			R	指 導 内 容
特1	CD1	本1	9	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○文脈を捉え、各設問に答える。筆者が読者に送っているメッセージについて考える。
特2	CD2		10	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○「未」「無」「不」「非」の使い方を学び、三字熟語を確認する。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○文脈を捉え、各設問に答える。
特3	CD3	本2	11	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○「的」「化」「性」の使い方を理解し、三字熟語を作る。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○文脈を捉え、本文中の空欄に適語を補充する。 ○キーワードに注意し、本文の読解をする。 ○筆者が理想とする「知」のあり方を理解する。
特4	CD4		12	○本文の内容を整理させる。 ○正しい漢字の読み書きを指導する。 ○言葉の意味を正しく覚え、活用できるようにする。 ○本文中にある語句の意味を調べ、確認する。 ○指示語に注意しながら、指示内容を明らかにする。 ○本文の読解をし、「ホンモノのおカネ」になるために必要な要素を理解する。

課題	2回	東京書籍インターネット講座視聴してノートにまとめたものを提出
----	----	--------------------------------

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 古典探求	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	1	通		新編古典探求
						なし

学習目標	古典を主体的に読み深めることで、先人のものの見方、考え方に触れ、伝え合うことの大切さを学び、伝統的な言語文化に対する理解や関心を深め古典の意義や価値を探究する資質、能力を育成する。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	『十訓抄』大江山の歌 ・ 本文の主題を捉える ・ 説話文学の特徴を捉える ・ 貴族にとっての和歌の意義を理解する	○ 教科書 12～13頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
	2	『徒然草』九月二十日のころ ・ 随筆の表現様式を学ぶ ・ 話の概略を把握する ・ 登場人物の心情の理解 ・ 作者の「その人」に対する心情を考える	○ 教科書 22～23頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	3	『世間胸算用』蛸売りの八助 ・ 近世の文章の特色を知る ・ 話の展開を理解する ・ 話の主題を読み取る ・ 主人公の人物像を把握する	○ 教科書 76～78頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	
3	4	助動詞活用表 ・ 助動詞の接続、活用、意味の習得	○ 教科書 288～289頁 ○ 助動詞の種類の確認 ○ 助動詞の意味 ○ 助動詞の活用	

S	R	単 元	内 容	評 価
3	5	『土佐日記』 馬のはなむけ	○ 教科書 54～55頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
		・ 日記文学の基礎的な知識を持つ ・ 当時の船旅や日常生活について学ぶ ・ 旅立ちの事情を読み取る ・ 当時の月日、時刻の呼び方について知る		
	6	『寓話』塞翁が馬	○ 教科書 203～204頁 ○ 返り点、訓点、句法理解 ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	
		・ 個々の登場人物の行動と心情の理解 ・ 「塞翁」の考える「禍」「福」と周囲との違いについて考える ・ 「塞翁」の考え方を読み取る ・ 故事成語「塞翁が馬」の意味を考える		
5	7	『更級日記』 物語	○ 教科書 60～62頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	
		・ 女流日記文学への関心を持つ ・ 回想の記であることを理解する ・ 作者の育った場所を確認する ・ 「源氏物語」に対する作者の思いを理解する		
	8	『小倉百人一首の世界』	○ 教科書 40～50頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙、表現技法 ○ 内容読解 ○ 文学史	
6		・ 和歌を鑑賞する態度を養う ・ 和歌の表現技法を理解する ・ 和歌に込められた心情を把握する ・ 作者のものの見方、表現の工夫を理解する		

S	R	単 元	内 容	評 価
6	9	『枕草子』中納言参り給ひて ・随筆文学としての「枕草子」の知識を持つ ・作者の鋭い観察眼を理解する ・人物とその会話のやりとりを理解する ・作者の当意即妙な言葉と、隆家との間柄について把握する	○ 教科書 89～90頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
7	10	『伊勢日記』 東下り ・全文を通読し「東」に下る経緯を把握する ・歌物語の修辞を学ぶ ・男の旅の様子を理解する ・男たちの心情を読み取る	○ 教科書 96～99頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙、和歌の技法 ○ 内容読解 ○ 文学史	【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	11	『源氏物語』光源氏の誕生 ・冒頭部について考える ・敬語法の習得 ・物語世界を正確に読み解く ・中国文化との関係について理解を深める	○ 教科書 126～128頁 ○ 歴史的仮名遣い ○ 語彙、敬語 ○ 内容読解 ○ 文学史	
8	12	『項羽と劉邦』四面楚歌 ・正確に音読し、書き下し文にする ・語句や句法を理解し、正確に現代語訳を把握する ・史書「史記」の特徴を理解する ・登場人物の心情を把握する ・「四面楚歌」の意味を理解する	○ 教科書 190～191頁 ○ 返り点、訓点、句法理解 ○ 語彙 ○ 内容読解 ○ 文学史	
実習	なし		なし	
4	-			

試験	2回	前・中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 国語ゼミB	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍「現代の国語」
		2	2	前		東京書籍「言語文化」
						NHK高校講座「ロンリのちから」

学習目標	(1) 国語全般の一般常識・教養を深めるための科目とする。 (2) 科目の教科書や参考書を頼りに調べる力を身に着けることを目的とする。 (3) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文化に対する理解を深めることができるようにする。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1		- 漢字の読み - 対義語の確認 - NHK高校講座「ロンリのちから」 - 動詞四段活用 - 文学史	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
	2		- 漢字の読み - 類義語の確認 - NHK高校講座「ロンリのちから」 - 動詞上一段活用・下一段活用 - 文学史	
3	3		- 漢字の読み - 対義語の確認 - NHK高校講座「ロンリのちから」 - 動詞上二段活用 - 文学史	
4	4		- 漢字の読み - 類義語の確認 - NHK高校講座「ロンリのちから」 - 動詞下二段活用 - 文学史	

S	R	単 元	内 容	評 価
1	5		① 漢字の読み ② 類義語の確認 ③ NHK高校講座「ロンリのちから」 ④ 動詞下二段活用 ⑤ 文学史	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	6		① 漢字の読み ② 類義語の確認 ③ NHK高校講座「ロンリのちから」 ④ 動詞下二段活用 ⑤ 文学史	【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に調べ取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3			
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【国語】 国語表現	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	3	通		国語表現 [国表702]
						なし

学習目標	(1) 実用的な表現力、創造的な表現力を養う。 (2) 言語活動については、「書くこと」「読むこと」の2領域に加え、「味わう」「探求する」「創作する」ことにも取り組む。 (3) 写真やDVDなどの資料に接することで、教材への興味関心を高める。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1・2	1 表現とは何か 2 分かりやすく説明しよう	1 教科書P4～P14、P206～209 ○ 表現の窓「対話」していますか？ ○ 表現の窓「みんな知っている、みんな知らない」 ○ 社会人基礎力の問題 2 教科書P16～P33 ○ 情報の整理・伝達 ○ モードに応じた言葉選び	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 - 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 - スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 - TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する。
2	2・3	2 分かりやすく説明しよう 3 「自分」を表現しよう	2 教科書P16～P33 ○ 情報の取捨選択・重みづけ ○ NHK高校講座「質問して当てよう・他者紹介をしよう」 3 教科書P66～80 ○ 情報の整理と伝達 ○ リフレーミング ○ NHK高校講座「文章のリフォーム」	
3	4・5	4 論理的な文章を書こう 5 身体で表現しよう	4 教科書P82～108 ○ 「論理的に書く」とは ○ 小論文のタイプについて ○ 自分の考えをまとめよう ○ NHK高校講座「意見を論理的に述べる」 5 教科書P34～P45 ○ 発音と口調 ○ 身振り・表情	
4	5・6	5 身体で表現しよう 6 「問い」を考えよう	5 教科書P34～P45 ○ 身体で表現を实践 ○ NHK高校講座「スピーチの方法」 6 教科書P46～65 ○ 質問力とは ○ 手紙の書き方～時候の挨拶 ○ 表現の窓「よい質問とは」 ○ NHK高校講座「電話とメモ」	

S	R	単 元	内 容	評 価
1	7・8	7 話し合う力をつけよう 8 表現と読書活動	7 教科書P112～P127 ○ ファシリテーション ○ 話し合いの形式 ○ NHK高校講座「プレゼンテーションの技術と実際」 8 教科書P128～P139、P206～P208 ○ 表現の窓「読書もまた一つの「経験」」	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 - 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 - 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 - TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する。
2	8・9	8 表現と読書活動 9 情報活用力を身につけよう	8 教科書P128～P139、 ○ 社会人基礎力の問題 9教科書P140～P153 ○ 「広報資料のポイント」と「広報資料」の作成手順 ○ 「食品ロス削減の推進に関する条例」から考えよう ○ NHK高校講座「意思決定・合意形成の為の会議」	
3	10・11	10 説得力のある提案をしよう 11 表現を楽しもう	10教科書P154～P167 ○ プレゼンテーションについて ○ プレゼンテーションの実践 ○ NHK高校講座「メディアの特性を知る」 11教科書P168～P187 ○ 創作 ○ 俳句を詠む	
4	11・12	11 表現を楽しもう 12 心をつかむ表現	11教科書P168～P187 ○ 短歌を詠む ○ NHK高校講座「二次創作を楽しむ」 12教科書P188～P192、P218～219 ○ YOASOBIのインタビュー記事 ○ 高梨沙羅のインタビュー記事 ○ 社会人基礎力	

試験	2回	前・中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」、

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学 I (新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	1	通		新数学I [数I704]
						なし

学習目標	(1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2) 5 乗法公式 6 因数分解(1) 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解の工夫と利用	○ 教科書P32～P47 ○ NHK高校講座 数学 I 第2回 第4回視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ たすき掛けの因数分解 ・ 複雑な式の因数分解 ○ TOH レポート1の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ○ 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
2	2	2節 実数 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 数の分類 4 分数と小数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式	○ 教科書P48～P71 ○ NHK高校講座 数学 I 第5回視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 分母の有理化 ・ 循環小数 ・ 1次不等式の解法 ・ 連立補不等式の解法 ・ 2次方程式の解法 ・ 解の公式 ○ TOH レポート2の視聴	【思考・判断・表現】 ○ 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ○ 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ○ 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ○ 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。
3	3	2章 2次関数 1節 2次関数とグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ 4 グラフの平行移動 5 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ	○ 教科書P74～P91 ○ NHK高校講座 数学 I 第13回視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 1次関数のグラフ ・ 2次関数のグラフ ・ 2次関数の平行移動 ・ 平方完成 ○ TOH レポート3の視聴	【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 数学の良さを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ○ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
4	4	2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと2次方程式 3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式	○ 教科書P92～P101 ○ NHK高校講座 数学 I 第14回視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 2次関数の最大値最小値 ・ 2次不等式の解法 ○ TOH レポート4の視聴	

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学Ⅱ(新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	2	通		数学Ⅱ Advanced [数Ⅱ701] なし

学習目標	(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 方程式・式と証明 1節 多項式の乗法・除法と分数式 1 3次式の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 多項式の除法 4 分数式とその計算 4節 式と証明 1 恒等式	○ 教科書P6～P19, P46～P50 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第5回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 二項定理 ・ 多項式の除法 ・ 分数式の計算 ・ 式の証明	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
2	2	2節 2次方程式 1 複素数とその演算 2 解の公式 4節 式と証明 2 不等式の証明	○ 教科書P20～P27, P51～56 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第8回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 虚数単位 ・ 負の数の平方根を含む式の計算 ・ 解の判別 ・ 相加平均・相乗平均	【思考・判断・表現】 ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。
3	3	2節 2次方程式 3 解と係数の関係 3節 高次方程式 1 因数定理 2 簡単な高次方程式	○ 教科書P28～P43 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第12回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 対象式の値 ・ 剰余の定理の応用 ・ 4次方程式の解法 ・ 高次方程式とその解	・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学の良さを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
4	4	2章 図形と方程式 1節 点と直線 1 2点間の距離 2 内分点・外分点 3 直線の方程式 4 2直線の関係	○ 教科書P64～P82 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第18, 20, 21回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ ある点に対して対称な点 ・ 点と直線の距離 ・ 座標を用いた図形の性質の証明	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	2節 円 1 円の方程式 2 円と直線 3 2つの円	○ 教科書P83～P95 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第28回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 3点を通る円 ・ 円と直線の共有点 ・ 円の接線の方程式 ・ 2つの円の共有点	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
6	6	3節 軌跡と領域 1 軌跡の方程式 2 不等式の表す領域	○ 教科書P97～P106 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第31, 32, 33回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 2点から等距離にある点の軌跡 ・ アポロニウスの円 ・ 円上を動く点で定まる奇跡 ・ 籍の形であらわされる不等式の領域 ・ 領域における最大最小	【思考・判断・表現】 ・ 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・ 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。 ・ 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。
7	7	3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ	○ 教科書P114～P129 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第40回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 弧度法 ・ 三角関数と単位円 ・ 三角関数の性質 ・ 三角関数のグラフ	・ 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとし、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
8	8	5 三角関数の応用 2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 三角関数の合成	○ 教科書P130～P155 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第47回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 三角関数を含む方程式・不等式 ・ 2倍角、半角の公式 ・ 三角関数の合成と最大・最小	

S	R	単 元	内 容	評 価
9	9	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1 指数法則 2 累乗根 3 指数の拡張 4 指数関数とそのグラフ	○ 教科書P158～P171 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第52回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 累乗根の性質 ・ 有理数を指数とする累乗 ・ 大小比較 ・ 指数関数を含む方程式・不等式	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
10	10	2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ 3 常用対数	○ 教科書P172～P185 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第60回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 対数の計算 ・ 底の変換公式 ・ 対数関数を含む方程式・不等式 ・ 整数の桁数	【思考・判断・表現】 ・ 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。 ・ 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。 ・ 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。
11	11	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 微分係数 2 導関数 2節 導関数の応用 1 接線 2 関数の増減と極大・極小 3 関数の最大・最小 4 方程式・不等式への応用	○ 教科書P190～P219 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第66, 67回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 微分係数の定義、図形的意味 ・ 接線の方程式 ・ 3次関数、4次関数のグラフ ・ 関数の最大・最小	・ 関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
12	12	3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	○ 教科書P220～P242 ○ NHK高校講座 数学Ⅱ 第80回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 不定積分と関数の決定 ・ 定積分の公式・性質 ・ 定積分で表された関数 ・ 2曲線で囲まれた図形の面積	

試験	2回	前後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする(前期R1～R6、後期R7～R12)
----	----	-----	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学Ⅲ(新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	3	通		新数学Ⅲ [数Ⅲ701]
						なし

学習目標	(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 関数と極限 1節 関数 1 分数関数とそのグラフ 2 無理関数とそのグラフ 3 逆関数と合成関数	○ 教科書P6～P19 ○ スクーリング重点解説 ・各関数をグラフで表す	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ○ 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
2	2	2節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 4 無限等比級数 5 いろいろな無限級数	○ 教科書P21～P40 ○ スクーリング重点解説 ・数列の収束・発散 ・極限の四則 ・無限級数の収束・発散	【思考・判断・表現】 ○ 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
3	3	3節 関数の極限 1 関数の極限 2 三角関数と極限 3 関数の連続性	○ 教科書P42～P60 ○ スクーリング重点解説 ・極限值と四則 ・右側からの極限、左側からの極限 ・指数関数、対数関数と極限 ・関数の極限值と大小関係 ・中間値の定理	
4	4	2章 微分 1節 微分法 1 導関数 2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法	○ 教科書P66～P78 ○ スクーリング重点解説 ・導関数の公式 ・積・商の導関数 ・合成関数・逆関数の微分法	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	2節 いろいろな関数の導関数 1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 いろいろな形で表される関数の微分 4 高次導関数	○ 教科書P79～P93 ○ スクーリング重点解説 ・ 三角関数の導関数 ・ 対数関数の導関数 ・ 指数関数の導関数 ・ 媒介変数で表された関数の微分法	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ○ 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
6	6	3章 微分の応用 1節 接線・関数の増減 1 接線・法線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 第2次導関数とグラフ	○ 教科書P102～P120 ○ スクーリング重点解説 ・ 接線の方程式・法線の方程式 ・ 平均値の定理 ・ 導関数の符号と関数の増減 ・ 極大・極小と微分係数 ・ 曲線の凹凸の判定	【思考・判断・表現】 ○ 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付ける。
7	7	2節 微分のいろいろな応用 1 最大・最小 2 方程式・不等式への応用 3 速度・加速度 4 近似値	○ 教科書P122～P132 ○ スクーリング重点解説 ・ 最大・最小 ・ 方程式・不等式への応用 ・ 関数の値の近似式	【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
8	8	4章 積分とその応用 1節 不定積分 1 不定積分とその基本公式 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 2節 定積分 1 定積分	○ 教科書P140～P157 ○ スクーリング重点解説 ・ 三角関数の不定積分 ・ 指数関数の不定積分 ・ 置換積分法 ・ 部分積分法 ・ 定積分	
9	9	2 定積分の置換積分法 3 定積分の部分積分法 4 定積分で表された関数 5 定積分と区分求積法 6 定積分と不等式 3節 面積・体積・長さ 1 面積 2 体積 3 曲線の長さと道のり	○ 教科書P158～P190 ○ スクーリング重点解説 ・ 定積分の置換積分法 ・ 偶関数・奇関数の定積分 ・ 定積分の部分積分法 ・ 面積 ・ 体積	

試験	2回	前・中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする。(前期R1～R5、後期R6～R9)
----	----	------	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学A(新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		数学AAdvanced [数A701]
						なし

学習目標	(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 場合の数と確率 0節 集合 1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 樹形図と場合の数	○ 教科書P6～P15 ○ NHK高校講座 数学 I 第32回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 要素の個数の応用 ・ 約数の個数	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ○ 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ○ 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
2	2	1節 場合の数 3 順列 4 組合せ	○ 教科書P16～P33 ○ NHK高校講座 ベーシック数学 第33回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 制限のある並び方の総数 ・ 組み分け、最短経路	【思考・判断・表現】 ○ 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 ○ 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ○ 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ○ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。
3	3	2節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質 3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率	○ 教科書P34～P48 ○ NHK高校講座 ベーシック数学 第34回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 和事象、余事象 ・ 独立な試行の確率	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	3節 いろいろな確率 2 反復試行の確率 3 条件付き確率 4 期待値	○ 教科書P49～P64 ○ NHK高校講座 ベーシック数学 第36回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 反復試行による点の移動 ・ 条件付確率	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ○ 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ○ 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
5	5	2章 図形の性質 1節 三角形の性質 1 内分・外分と三角形の重心 2 三角形の外心・垂心 3 角の二等分線と三角形の内心 4 三角形における比の定理	○ 教科書P66～P83 ○ NHK高校講座 ベーシック数学 第26回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 内角の二等分線と比 ・ チェバ、メネラウスの定理	【思考・判断・表現】 ○ 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 ○ 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。 ○ 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 数学の良さを認識し数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ○ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
6	6	2節 円の性質 1 円周角の定理とその応用 2 方べきの定理 3 2つの円 4 内分点の作図と平方根の作図 3節 空間図形 1 直線と平面 2 正四面体	○ 教科書P84～P112 ○ NHK高校講座 ベーシック数学 第31回 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 接線と弦のつくる角 ・ オイラーの多面体定理	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学B(新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	2	通		数学BAdvanced [数B701]
						なし

学習目標	(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 数列 1節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等比数列	○ 教科書P6～P18 ○ スクーリング重点解説 ・ 等差数列の一般項、和 ・ 等比数列の一般項、和	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・ 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。
2	2	1章 数列 1節 数列 4 和の記号 Σ 5 階差数列 6 いろいろな数列	○ 教科書P19～P26 ○ スクーリング重点解説 ・ 和の記号 ・ 階差数列の一般項	【思考・判断・表現】 ・ 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・ 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・ 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。
3	3	1章 数列 1節 数列 6 いろいろな数列 2節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法	○ 教科書P27～P40 ○ スクーリング重点解説 ・ 漸化式 ・ 数学的帰納法	・ 数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	2章 統計的な推測 1節 標本調査 1 母集団と標本 2節 確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の平均と分散	○ 教科書P52～P66 ○ スクーリング重点解説 ・ 確率分布 ・ 確率変数の平均と分散, 標準偏差	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・ 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることができる。
5	5	2節 確率分布 3 確率変数の和と積 4 二項分布 3節 正規分布 1 正規分布	○ 教科書P67～P85 ○ スクーリング重点解説 ・ 確率変数の和の平均, および独立な確率変換の積の平均や和の分散 ・ 二項分布 ・ 正規分布	【思考・判断・表現】 ・ 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・ 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・ 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学の良さを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善しようとしている。
6	6	4節 統計的な推測 1 母集団の分布 2 標本平均の分布 3 母平均の推定 4 仮説検定の方法	○ 教科書P86～P105 ○ スクーリング重点解説 ・ 母集団の平均, 分散, 標準偏差 ・ 標本平均の平均と標準偏差や, 標本平均が条件を満たす確率 ・ 正規分布を利用した信頼区間の考え方 ・ 仮説検定	
実習				
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【数学】 数学C(新)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	3	通		数学CAAdvanced [数C701]
						なし

学習目標	(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 ベクトル 1節 平面上のベクトル 1 ベクトルの意味 2 ベクトルの加法・減法・実数倍 3 ベクトルの成分	○ 教科書P6～P18 ○ スクーリング重点解説 ・ベクトルの加法 ・ベクトルの減法 ・ベクトルの実数倍 ・ベクトルの平行移動 ・ベクトルの分解 ・ベクトルの成分表示	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
2	2	1節 平面上のベクトル 4 ベクトルの内積 2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル	○ 教科書P19～P33 ○ スクーリング重点解説 ・内積の定義 ・ベクトルの垂直と内積 ・内積の性質 ・内分点の位置ベクトル ・三角形の重心の位置ベクトル ・3点が一直線上にあるための条件	【思考・判断・表現】 ・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
3	3	2節 ベクトルの応用 2 ベクトル方程式 3節 空間におけるベクトル 1 空間における座標 2 空間におけるベクトル 3 位置ベクトルと空間図形	○ 教科書P35～P64 ○ スクーリング重点解説 ・直線のベクトル方程式 ・2点を通る直線のベクトル方程式 ・法線ベクトル ・空間のベクトル	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線	○ 教科書P76～P86 ○ スクーリング重点解説 ・ 放物線の性質 ・ 楕円の性質 ・ 双曲線の性質 ・ 双曲線の漸近線	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 ・ ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
5	5	4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線と離心率 2節 媒介変数と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と極方程式 3 いろいろな曲線	○ 教科書P88～P111 ○ スクーリング重点解説 ・ 曲線の平行移動 ・ 2次曲線と直線 ・ 極座標 ・ 極方程式	【思考・判断・表現】 ・ 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。
6	6	3章 複素数平面 1節 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理 2節 図形への応用 1 複素数平面上の図形 2 複素数と角	○ 教科書P118～P142 ○ スクーリング重点解説 ・ 共役な複素数の性質 ・ 複素数の絶対値 ・ 複素数の極形式 ・ 複素数の積と商 ・ 複素数の積と回転 ・ ド・モアブルの定理 ・ 内分点外分点 ・ 複素数の角	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 英語コミュニケーション I	単位数	年次	履修	教科書	東京書籍
		3	1	通	副教材	All Aboard! English Communication I なし

学習目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Lesson1 「Breakfast around the World」 ・ 本文の重要表現 ・ be動詞、一般動詞、過去形まとめ	○ 教科書P15～P27 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第4回、第5回 Lesson 1」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングの出席状況および取り組む課題の成果に基づき評価する
2	2	Lesson2 「Australia's Cute Quokkas」 P.32 Review P.34 Grammar	○ 教科書P38～P47 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第8回、第9回 Lesson 3」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	
3	3	Lesson3 「A train driver in Sanriku」 P.42 Review P.45 Grammar	○ 教科書P38～P47 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第8回、第9回 Lesson 3」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	
4	4	Lesson4 「A Miracle Mirror」 P.52 Review P.56 Grammar Target「to不定詞」	○ 教科書P48～P57 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第11回、第13回 Lesson 4」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	

S	R		内 容	評 価
5	5	Lesson5「Learning from the sea」 P.64 Review P.68 Grammar Target「動名詞」	○ 教科書P60～P69 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第 17 回、第 18 回 Lesson 5」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	観点別評価は、下記の観点別に対して ABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づ き評価する
6	6	Lesson6「A Funny Picture from the Edo Period」 P.82 Review P.87 Grammar Target「受け身」 ・動詞の過去形・過去分詞形変化 ・受け身	○ 教科書P69、P78～P82、P166～P167 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第 21 回、第 22 回 Lesson 6」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題 及びスクーリング重点解説課題の成果に 基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングの出席状況および取り組む 課題の成果に基づき評価する
7	7	Lesson7「A dairy of hope」 P.92 Review P.96 Grammar Target「比較表現(原級・比較級・最上級)」 ・本文の重要表現 ・比較表現	○ 教科書P90～P97 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第 23 回、第 24 回 Lesson 7」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	
8	8	Lesson8「A door to a New Life」 P.102 Review P.106 Grammar Target「現在完了形」 ・本文の重要表現 ・現在完了形 ・現在形、現在進行形、現在完了形の 比較	○ 教科書P100～P107 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第 26 回、第 27 回 Lesson 8」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	
9	9	Lesson9「Fighting Plastic Pollution」 P.116 Review P.120 Grammar Target「名詞を後ろから説明する分詞」 ・本文の重要表現 ・分詞	○ 教科書P112～P121 ○ NHK 高校講座＜英語C I＞ 「第 30 回、第 31 回 Lesson 8」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題	
実習				
-	-	-	-	-

試験	2回	前・後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 英語コミュニケーションⅡ	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	2	通		All Aboard! English Communication II なし

学習目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Pre-Lesson Lesson1 ・本文の重要表現 ・want to 不定詞 ・関係代名詞what	○ 教科書P8～P19 ○ NHK 高校講座＜ 英CⅡ＞ 「第4回 Lesson 1(2)A Colorful Island」 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート1の視聴 ・関係代名詞what	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	Lesson2 ・本文の重要表現 ・比較表現〈more〉〈the most〉 ・感覚や感情を表す語	○ 教科書P20～P29 ○ NHK 高校講座＜C英CⅡ＞ 「第6回 Lesson2(1) With the Beatles」 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート2の視聴 ・比較表現〈more〉〈the most〉	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	Lesson3 ・本文の重要表現 ・Itの用法〈It is … (for —) to ～〉〈It is … that ～〉 ・関係代名詞what・比較表現・itの用法について総復習	○ 教科書P30～P41 ○ NHK 高校講座＜ 英CⅡ＞ 「第7回 Lesson 2(2)With the Beatles」 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート3の視聴 ・関係代名詞what・比較表現・itの用法について総復習	
4	4	Lesson4 ・本文の重要表現 ・間接疑問文 ・日常生活の表現	○ 教科書P42～P55 ○NHK 高校講座＜ 英CⅡ＞ 「第13回 Lesson 4 (2)Little Here」 ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート4の視聴 ・間接疑問文	

S	R		内 容	評 価
5	5	Lesson5 ・本文の重要表現 ・to不定詞を含む表現 ・身体の各部分・ふだん身に付けている衣服に関する語	○ 教科書P56～P69 ○NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第17回 Lesson 5(2)Special Makeup in Kabuki」 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート5の視聴 ・to不定詞を含む表現	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
6	6	Reading1 Mujina ・本文の重要表現 ・現在完了進行形 ・間接疑問文・to不定詞を含む表現について総復習	○ 教科書P70～P77 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート6の視聴 ・間接疑問文・to不定詞・現在完了進行形を含む表現について総復習	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
7	7	Lesson6 ・本文の重要表現 ・動詞の目的語になるif節 ・さまざまな職業を表す語	○ 教科書P78～P91 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第21回 Lesson 6 Seeds for Future Generations(2)」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート7の視聴 ・ 動詞の目的語になるif節	
8	8	Lesson7 ・本文の重要表現 ・関係副詞where/when ・入国審査で尋ねられる質問 ・電車の乗り換え案内	○ 教科書P92～P105 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第25・26回 Lesson 7 (2) (3) Over the Wall」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート8の視聴 ・ 関係副詞where/when	

S	R		内 容	評 価
9	9	Lesson8 ・本文の重要表現 ・知覚動詞 ・動詞の目的語になるif節・関係副詞 where/when・知覚動詞について総復習	○ 教科書P106～P119 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第29回 Lesson8 (2) Inspiration from Nature」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ブレンストーミング ・個人情報 ○ TOH レポート9の視聴 ・動詞の目的語になるif節・関係副詞 where/when・知覚動詞について総復習	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
10	10	Lesson9 ・本文の重要表現 ・使役動詞 ・仮定法過去 ・エッセイライティングのポイント	○ 教科書P120～P133 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第33・34回 Lesson9 (2) The Bitter Truth behind Chocolate」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・フェイクニュース ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ○ TOH レポート10の視聴 ・使役動詞 ・仮定法過去	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
11	11	Lesson10 ・分詞構文 ・使役動詞・分詞構文について総復習	○ 教科書P134～P147 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞「第38～39回 Lesson10 (2)(3) Fighting Angel」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・五大装置 ・基本論理回路 ○ TOH レポート11の視聴 ・使役動詞・分詞構文について総復習	
12	12	Reading2 Bear's Pie ・本文の重要表現 ・一日の生活を表す英語表現	○ 教科書P148～P155 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第36回Extra Target②」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・クラウドサービス ・目的に合わせたデータの利用 ○ TOH レポート12の視聴 ・仮定法過去の復習	
実習				
-	-	-	-	-

試験	2回	前・後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 英語コミュニケーションⅢ	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	3	通		All Aboard! English Communication Ⅲ なし

学習目標	話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Lesson1 ・本文の重要語(句)を確認する ・建築物について英語で紹介する ・to不定詞・動名詞を用いて表現する	○ 教科書P4～P11 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第2回 Lesson1 (1) Gifts to Barcelona のToday's Focus」 ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート1の視聴 ・to不定詞／動名詞	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	Lesson2 ・本文の重要表現(句)を確認する ・生き物の特徴について英語で説明する ・現在完了形を用いて表現する	○ 教科書P12～P19 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 第4回 Lesson 2 (1) Akkamui ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート2の視聴 ・現在完了形	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	Lesson3 ・本文の重要表現(句)を確認する ・ファッションについて英語でインタビューする ・使役動詞を用いて表現する	○ 教科書P20～P27 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 第6回 Lesson 3 (1) Your True Colors ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート3の視聴 ・使役動詞	
4	4	Lesson4 ・本文の重要表現(句)を確認する ・食糧問題について英語でディベートする ・受け身を用いて表現する	○ 教科書P28～P37 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 第8回 Lesson 4 (1) Our Future Food? ○ スクーリング重点解説 ・長文問題 ○ TOH レポート4の視聴 ・受け身	

S	R		内 容	評 価
5	5	Lesson5 ・本文の重要表現(句)を確認する ・地域の自然について英語でプレゼンテーションする ・関係代名詞を用いて表現する	○ 教科書P38～P47 ○NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 第12回 Lesson 5 (1)Madagascar ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート5の視聴 ・ 関係代名詞	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
6	6	Reading1 The Fun They Had ・本文の重要表現(句)を確認する ・物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の内容に関する質問に英語で答える ・過去進行形・分詞構文を用いて表現する	○ 教科書P48～P53 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 第37回 Lesson 10 (1) Katherine's Long Journey ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート6の視聴 ・ 本文に使われる文法表現	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
7	7	Lesson6 ・本文の重要表現(句)を確認する ・訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書く ・関係代名詞の非制限用法(,who / ,which)を用いて表現する	○ 教科書P54～P63 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第17回 Lesson 6 (1) The Mystery of the Terracotta Warriors のToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート7の視聴 ・ 関係代名詞の非制限用法(,who / ,which)	
8	8	Lesson7 ・本文の重要表現(句)を確認する ・再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをする ・比較表現を用いて表現する	○ 教科書P64～P73 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第23回 Lesson 7 (2) Green ChallengesのToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・ 長文問題 ○ TOH レポート8の視聴 ・ 比較表現	

S	R		内 容	評 価
9	9	Lesson8 ・本文の重要表現(句)を確認する ・経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書く ・名詞を後ろから説明する分詞を用いて表現する	○ 教科書P74～P83 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第28回 Lesson 8 (2) Witnesses of War のToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・ブレンストーミング ・個人情報 ○ TOH レポート9の視聴 ・名詞を後ろから説明する分詞	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
10	10	Lesson9 ・本文の重要表現(句)を確認する ・電気の有効活用について英語でミニディベートをする ・仮定法過去を用いて表現する	○ 教科書P84～P95 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第33回 Lesson9 (2) The Wonders of Lightning のToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・フェイクニュース ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ○ TOH レポート10の視聴 ・仮定法過去	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
11	11	Lesson10 ・本文の重要表現(句)を確認する ・社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書く ・関係代名詞(whose)を用いて表現する	○ 教科書P96～P105 ○ NHK 高校講座＜英CⅢ＞ 「第10回 Lesson4 (3) Our Future Food? のToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・五大装置 ・基本論理回路 ○ TOH レポート11の視聴 ・関係代名詞(whose)	
12	12	Reading2 Table for Two ・物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の内容に関する質問に英語で答える ・no longer, as～as S canの用法を用いて表現する	○ 教科書P106～P111 ○ NHK 高校講座＜英CⅡ＞ 「第35回 Lesson9 (4) The Wonders of Lightning のToday's focus」 ○ スクーリング重点解説 ・クラウドサービス ・目的に合わせたデータの利用 ○ TOH レポート12の視聴 ・本文に使われる文法表現	
実習		-	-	-
-	-			

試験

2回

前・後期

教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 論理・表現 I	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1, 2, 3	前/後		NEW FAVORITE English Logic and Expression I [論 I 701]
						なし

学習目標	(1) 中学校において育成したコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」の三つの領域(以下「三つの領域」という。)を中心とした発信能力の育成を強化する。 (2) スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになる。 (3) 「英語の特徴やきまりに関する事項」において、「論理の構成や展開及び表現などに関する事項」について理解する。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Unit1 L.1 初めての食事 L.2 道に迷う L.3 人物紹介 ちがいがわかる伝わる英文法 p.138~141	- 褒める - 勧める - 断る - 提案する - 依頼する - 説明する - 紹介する - 注意を引く 「しています」だから現在進行形？ 「したことがある」は過去形ではだめ？	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	Unit1 L.4 体調が悪い L.5 買い物 L.6 行ってみたい場所 ちがいがわかる伝わる英文法 p.142~145	- 体調を伝える - 体調を尋ねる - 指示・アドバイスをする - 描写する - 相槌を打つ - 希望を述べる - 理由を述べる - 未来を語るには？ - 仮定法はどんなときに使うの？	【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングの出席状況および取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	Unit1 L.7 イベントに誘われる L.8 スクールカウンセラーに相談 L.9 お気に入りを紹介 ちがいがわかる伝わる英文法 p.146~149	- 誘う - 誘いを受ける - 誘いを断る - 状況を説明する - 申し出る - 助言・提案する - 感謝する - 要約し、紹介する - 感想や批評を述べる - 数えられるってどういうこと？ - 日本語なら言わなくても分かるのに・・・	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	Unit1 L.10 待ち合わせに遅刻 L.11 家庭でのディカッション L.12 英字新聞に投稿 ちがいがわかる伝わる英文法 p.150~153	・ 謝る ・ 許す ・ 励ます ・ 共感を述べる ・ 残念な気持ちを述べる ・ 解決策を提案する ・ 要望や主張を述べる ・ 理由を述べる ・ 名詞を修飾するものは形容詞とは限らない ・ あとから説明してもいいの？	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 スクーリングの出席状況および取り組む課題の成果に基づき評価する
5	5	Unit2 L.1 クラスでディベート① L.2 クラスでディベート② L.3 経験談のスピーチ L.4 遊びやスポーツを紹介 ちがいがわかる伝わる英文法 p.154~157	・ 理由を述べる ・ 例を挙げる ・ 反駁する ・ 引用する ・ 描写する ・ 経験からアドバイスする ・ 順序だてて説明する ・ 聞き手の知識に合わせて説明する ・ 話題の中心は何にしよう？ ・ 使い方を間違えると失礼になるってほんと？	
6	6	Unit2 L.5 日本をPR L.6 物事の両面を伝える L.7 読み手を納得させる L.8 読み手を説得する ちがいがわかる伝わる英文法 p.158~161	・ 事実と意見を区別して述べる ・ 文化や習慣を説明する ・ 利点と欠点を述べる ・ 話題を発展させる ・ 話題を変える ・ 主張を説明する ・ 要約する ・ 引用する ・ 条件を出して意見を述べる ・ 説得する ・ 「できた」はcouldでいいんじゃないの？ ・ どっちも「～すること」じゃないの？	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 論理・表現Ⅱ	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	2	通		NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ[論Ⅱ701]
						なし

学習目標	(1)「論理・表現Ⅰ」を履修した後に、更に英語の履修を希望する生徒の能力・適性などに応じて選択履修させる (2)スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことができるようになる
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	- 訂正する - 心配する - 感謝する - 驚く - 繰り返す - 言い換える - 注意をひく - 同意を求める - 望む - 褒める	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	- 誘う - 説明する - 聞き直す - 依頼する - 要約する - 言い換える - 困ったことを伝える・説明する - 控え目に依頼する	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	Lesson9 タクシーに乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	- 依頼する - 提案する - 仮定する - 反対する - 報告する - 比較して説明する - 説明する - 理由を述べる - 仮定する	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	・推論する ・賛成・反対する ・主張する ・推論する ・賛成・反対する ・推論する ・説得する	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
5	5	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	・報告する ・望む ・説明する ・主張する ・提案する	
6	6	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	・仮定する ・推論する ・比較する ・類似点と相違点を説明する ・主張する ・説得する	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【英語】 論理・表現Ⅲ	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	3	通		NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ[論Ⅲ701]
						なし

学習目標	(1)「論理・表現Ⅰ、Ⅱ」を履修した後に、更に英語の履修を希望する生徒の能力・適性などに応じて選択履修させる (2)スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことができるようになる
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	Lesson1 食糧問題についてディスカッションする Lesson2 メールで近況を伝える Lesson3 学校新聞でアドバイスする	- 訂正する - 心配する - 感謝する - 驚く - 繰り返す - 言い換える - 注意をひく - 同意を求める - 望む - 褒める	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	Lesson4 宇宙についてスピーチする Lesson5 イベントなどを説明する Lesson6 理想の場所や時間を描写する	- 訂正する - 心配する - 感謝する - 驚く - 繰り返す - 言い換える - 注意をひく - 同意を求める - 望む - 褒める	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	Lesson7 日本の観光をプレゼンテーションする Lesson8 趣味について書く Lesson9 物事を分析して評論する Lesson10 学習環境についてディベートする	- 誘う - 説明する - 聞き直す - 依頼する - 要約する - 言い換える - 困ったことを伝える・説明する - 控え目に依頼する	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③ Lesson4 調査結果のプレゼンテーション	・推論する ・賛成・反対する ・主張する ・推論する ・賛成・反対する ・推論する ・説得する	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
5	5	Lesson5 イベントについてのスピーチ Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	・報告する ・望む ・説明する ・主張する ・提案する	
6	6	Lesson9 分析・評論する Lesson10 クラスでディベート ④	・仮定する ・推論する ・比較する ・類似点と相違点を説明する ・主張する ・説得する	
実習				
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 物理基礎	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	後		新編 物理基礎 [物基702]
						なし

学習目標	- 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 - 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 - 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 - 運動の表し方 - 変位と速度 - 等速直線運動 - 合成速度と相対速度 - 速度が変わる運動 - 自由落下運動 - 鉛直投射 - 水平投射	○ 教科書P10～P31 ○ スクーリング重点解説 - 等速直線運動 - 等加速度直線運動 ○ TOH レポート1の視聴 - 鉛直投射	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	1編 物体の運動とエネルギー 2章 力と運動の法則 - 力とつり合い - 力の合成と分解 「運動の変化」と「力」 - 作用・反作用の法則 - 動摩擦力とその性質 - 静止摩擦力とその性質 - 水圧と浮力	○ 教科書P34～P67 ○ スクーリング重点解説 - 力と力のつり合い - 斜面における力のつり合い - 弾性力 - 運動の法則 ○ TOH レポート2の視聴 - 運動方程式	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	1編 物体の運動とエネルギー 3章 力学的エネルギー - 仕事と仕事率 - 運動エネルギー - 位置エネルギー - 力学的エネルギーの保存 - いろいろな運動で見る力学的エネルギー	○ 教科書P74～P87 ○ スクーリング重点解説 - なめらかな斜面における運動とエネルギー - 荒い斜面における運動とエネルギー ○ TOH レポート3の視聴 - 弾性力による位置エネルギーと摩擦	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱 ・温度と熱 ・熱と物質 ・熱の移動と保存 ・熱と仕事 ・熱機関と不可逆変化	○ 教科書P94～P105 ○ スクーリング重点解説 ・ブラウン運動 ・絶対温度 ・熱容量と比熱容量 ・内部エネルギーと熱力学第一法則 ・熱機関と熱効率 ○ TOH レポート4の視聴 ・熱量保存の法則	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
5	5	2章 波 ・いろいろな波 ・波の表し方 ・横波と縦波 ・波の重ね合わせ ・定在波 ・波の反射 ・音波 ・弦の固有振動 ・気柱の固有振動	○ 教科書P108～P131 ○ スクーリング重点解説 ・波の要素 ・正弦波 ・自由端反射と固定端反射 ○ TOH レポート5の視聴 ・気柱の固有振動	
6	6	3章 電気 ・動いていない電気、動いている電気 ・電流と電気抵抗 ・直列接続と並列接続 ・電力と電力量 ・電流がつくる磁場 ・電磁波 4章 エネルギーとその利用 ・原子核のエネルギー ・エネルギーの利用と課題	○ 教科書P134～P165 ○ スクーリング重点解説 ・電気量と電流 ・オームの法則 ・フレミングの法則 ・半減期 ○ TOH レポート6の視聴 ・合成抵抗	
実習				
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 化学基礎	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		新編 化学基礎 [化基702]
						なし

学習目標	- 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 - 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 - 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1節 物質の成分 ・純物質と混合物 2節 物質の構成元素 ・元素 ・単体と化合物 ・元素の確認 3節 物質の三態 ・粒子の熱運動 ・物質の三態と状態変化	○ 教科書P12～P27 ○ スクーリング重点解説 ・元素記号 ・同素体 ○ TOH レポート1の視聴 ・混合物から成分となる物質を分離する方法	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表 1節 原子の構造 ・原子 ・同位体 2節 電子配置と周期表 ・原子の電子配置 ・元素の周期表	○ 教科書P36～P43 ○ NHK高校講座 化学基礎 「第7回 原子核と電子」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・原子の構造と表記法 ・同位体の性質と利用 ・希ガスの電位配置 ○ TOH レポート2の視聴 ・周期表の意味するもの	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	2章 化学結合 1節 イオンとイオン結合 ・イオンの生成 ・イオン結合とイオン結晶 2節 分子と共有結合 ・共有結合と分子の形成 ・配位結合 ・電気陰性度と分子の極性 3節 金属と金属結合 ・金属結合	○ 教科書P48～P71 ○ スクーリング重点解説 ・同素体の構造 ・金属結晶の構造と性質 ○ TOH レポート3の視聴 ・共有結合の成り立ち（電子式と構造式）	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 1節 原子量・分子量・式量 ・ 原子の相対質量 ・ 原子量・分子量・式量 2節 物質質量 3節 溶液の濃度 4節 化学反応の表し方 5節 化学反応の表す量的関係	○ 教科書P82～P99 ○ スクーリング重点解説 ・ 溶液の濃度 ・ 化学反応式の作り方 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 原子の相対質量 ・ 原子量 ・ 分子量・式量 ・ アボガドロ数と物質質量	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	5	2章 酸と塩基 1節 酸と塩基 ・ 酸と塩基の定義 2節 水素イオン濃度とpH ・ 水素イオン濃度とpH 3節 中和反応と塩の生成 4節 中和滴定 ・ 中和滴定の量的関係	○ 教科書P106～P125 ○ スクーリング重点解説 ・ 中和と中和滴定 ・ 塩の種類 ○ TOH レポート5の視聴 ・ 酸と塩基の性質と定義 ・ 水素イオン濃度とpH	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	6	3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤 3節 金属の酸化還元反応 4節 酸化還元反応の応用	○ 教科書P136～P151 ○ スクーリング重点解説 ・ 電池のしくみ ・ 金属のイオン化傾向と化学変化 ○ TOH レポート6の視聴 ・ 酸化と還元の定義 ・ 酸化数と酸化還元反応	
実習				
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 生物基礎	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	2	通		新編 生物基礎 [生基 702]
						なし

学習目標	- 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 - 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 - 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴 2章 生物とエネルギー 1節 生体とATP 2節 酵素のはたらき 3節 呼吸と光合成	○ 教科書P10～P37 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第2回 生物の多様性」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 生物にみられる共通性 ・ ATPの構造 ○ TOH レポート1の視聴 ・ 酵素のはたらき	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 1節 生物と遺伝子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	○ 教科書P42～P57 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第9回 生物と遺伝子」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 遺伝子とは ・ ゲノム ・ DNAの構造 ○ TOH レポート2の視聴 ・ DNAの複製と分配	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	2章 遺伝情報とタンパク質の合成 1節 タンパク質 2節 タンパク質と遺伝情報 3節 細胞の分化と遺伝子	○ 教科書P58～P71 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第13回 タンパク質と遺伝情報」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ RNAとDNAの違い ・ 遺伝暗号表 ○ TOH レポート3の視聴 ・ DNAからタンパク質へ(転写と翻訳)	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの身体を調節するしくみ 1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達 3節 内分泌系による情報伝達 4節 血糖値の調節	○ 教科書P76～P99 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第21回 血糖値の調節」視聴 ○ スクリーニング重点解説 ・ 体内環境 ・ ホルモン分泌のしくみ ・ 血糖濃度の調節 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 自律神経系による調節	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクリーニング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	5	2章 免疫のはたらき 1節 免疫のしくみ 2節 免疫の応用 3節 免疫とさまざまな疾患	○ 教科書P100～P117 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第24回 免疫のしくみ(2)」視聴 ○ スクリーニング重点解説 ・ 適応免疫 ・ 血液凝固 ・ 免疫とさまざまな疾患 ○ TOH レポート5の視聴 ・ 免疫記憶(一次応答・二次応答)	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	6	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 1節 身のまわりの植生 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム 2章 生態系と生物の多様性 1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間関係 3節 生態系と人為的攪乱 4節 生態系の保全	○ 教科書P122～P165 ○ NHK高校講座 生物基礎 「第37回 生態系と人為的攪乱」 ○ スクリーニング重点解説 ・ 植生の遷移 ・ 生物間関係性 ・ 生態系の保全 ○ TOH レポート6の視聴 ・ バイオーム(水平分布・垂直分布)	
実習				
-	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクリーニング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 科学と人間生活	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		科学と人間生活 [科人701] なし

学習目標	・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 ・身のまわりの微生物 ・生態系における微生物のはたらき ・水の浄化 ・微生物の発見の歴史 ・食品と微生物 ・アルコール発酵とその利用 ・医薬品と微生物	○ 教科書P16～P35 ○ 2023年度NHK高校講座 化学と人間生活 「第3ノーベル賞学者 大村智～微生物を暮らしに役立てる」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・微生物による炭素・地磯の循環 ・環境保全と微生物の役割 ・食品と微生物 ・医療における微生物利用の発達 ○ TOH レポート1の視聴 ・微生物の種類	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	2章 ヒトの生命現象 ・ヒトの視覚と光による影響 ・血糖濃度を調節するしくみ ・体を守る免疫のしくみ ・生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき	○ 教科書P40～P63 ○ 2023年度NHK高校講座 科学と人間生活 「第4回 視覚～私たちが見ている世界」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・インスリンの作用と仕組み ・免疫のはたらきとしくみ ・セントラルドグマ ○ TOH レポート2の視聴 ・免疫記憶のしくみ	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 ・資源の再利用と3R ・プラスチックの性質と分類 ・異なる金属の区別 ・プラスチックの性質とその再利用	○ 教科書P68～P91 ○ 2023年度NHK高校講座 科学と人間生活 「第7回化学 リサイクル」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・性質の違いによる金属の分類 ・プラスチックの性質と分類 ・さまざまな機能をもつプラスチック ○ TOH レポート3の視聴 ・金属の種類と性質	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	2章 衣料と食品 ・衣料の科学 ・食品の科学	○ 教科書P96～P113 ○ 2023年度NHK高校講座 科学と人間生活 「第11回化学 グルメの神髄」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・繊維の種類と性質 ・体に必要な栄養素 ○ TOH レポート4の視聴 ・炭水化物の性質	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	5	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 ・光の進み方とその見え方 ・光の波としての性質 ・目に見える光と色の見え方 ・目に見えない光とその利用	○ 教科書P118～P135 ○ 2023年度NHK高校講座 科学と人間生活 「第12回 テレビ技術の発展～光の性質～」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・境界面(水面)における光の進み方(反射・屈折) ・光の分散とスペクトル ・光の干渉と回折 ○ TOH レポート5の視聴 ・光の3原色と色	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	6	2章 熱の性質とその利用 ・原子や分子の熱運動 ・熱容量と比熱 ・エネルギーの利用と私たちの暮らし	○ 教科書P140～P155 ○2023年度 NHK高校講座 科学と人間生活 「第15回 発電のしくみ～エネルギーの科学～」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・物質による温まりやすさ ・ほかのエネルギーから熱エネルギーへ ○ TOH レポート6の視聴 ・熱量の保存	
実習		空気の力	○ 大気圧の実験	
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 物理	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	3	通		物理 [物理701]
						なし

学習目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動 ・平面内の運動 ・放物運動 2章 剛体のつり合い ・剛体と力のモーメント 3章 運動量 ・力積と運動量	○ 教科書P8～P49 ○ スクーリング重点解説 ・速度の合成 ・相対速度 ・斜方投射 ・力のモーメント ・剛体のつり合い・運動量と力積 ○ TOH レポート1の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 レポートの応用問題についての学習で評価する。
2	2	3章 運動量 ・運動量の保存 ・反発係数 4章 円運動 ・円運動 ・慣性力	○ 教科書P50～P84 ○ スクーリング重点解説 ・運動量保存の法則と衝突 ・衝突と力学的エネルギー ・等速円運動 ・向心力 ・鉛直面内の円運動 ・慣性力 ・円錐振り子 ○ TOH レポート2の視聴	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	5章 単振動 ・単振動 ・さまざまな単振動 ・単振動のエネルギー 6章 万有引力 ・惑星の運動 ・万有引力	○ 教科書P85～P120 ○ スクーリング重点解説 ・単振動 ・鉛直ばね振り子 ・水平ばね振り子 ・単振り子とエネルギー ・万有引力とそのエネルギー ・ケプラーの法則 ・人工衛星 ○ TOH レポート3の視聴	
4	4	7章 気体分子の運動 ・気体の性質 ・気体分子の運動と状態方程式 ・熱力学の第一法則と気体の状態変化	○ 教科書P121～P158 ○ スクーリング重点解説 ・気体の状態方程式 ・熱力学第1法則 ・気体分子の運動エネルギー ・気体の内部エネルギー ・等温変化・断熱変化 ・定積変化・定圧変化 ・定積モル比熱・定圧モル比熱 ・熱効率 ○ TOH レポート4の視聴	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	2編 波 1章 波の伝わり方 ・ 正弦波の式 ・ 波の屈折 ・ 波の干渉 ・ 音の反射 ・ クインケ管 2章 音 ・ 音の性質 ・ ドップラー効果	○ 教科書P160～P188 ○ スクリーニング重点解説 ・ 正弦波の式 ・ 波の屈折干渉 ・ 音源が動く場合のドップラー効果 ・ 観測者が動く場合のドップラー効果 ・ 音源・観測者が動く場合のドップラー効果 ○ TOH レポート5の視聴	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 レポート中の応用問題についての学習で評価する。
6	6	3章 光 ・ 光の伝わり方 ・ 光の回折と干渉	○ 教科書P189～P213 ○ スクリーニング重点解説 ・ フィゾーの実験 ・ 光の屈折と全反射 ・ 光の分散 ・ 偏光 ・ 光の性質 ・ ヤングの実験 ・ 回折格子 ・ 光学距離 ・ 薄膜による干渉 ・ くさび形空気層による干渉 ・ ニュートンリング ○ TOH レポート6の視聴	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
7	7	3章 光 ・ レンズと鏡 3篇 電気と磁気 1章 電場と電位 ・ 静電気 ・ 電場(電界)	○ 教科書P214～P245 ○ スクリーニング重点解説 ・ 凸レンズによる像 ・ 凹レンズによる像 ・ 組みあわせレンズ ・ 電気量保存の法則 ・ クーロンの法則 ・ 点電荷の作る電場・電場の合成 ・ 電気力線の本数 ○ TOH レポート7の視聴	
8	8	1章 電場と電位 ・ 電位 ・ 電場中の物体 ・ コンデンサー	○ 教科書P246～P274 ○ スクリーニング重点解説 ・ 電位と電位差 ・ 一様な電場と電位差 ・ 点電荷のまわりの電位 ・ 電位の合成 ・ 箔検電器 ・ コンデンサー ・ 電気容量と電位差 ・ コンデンサーの接続・電気量保存の法則 ・ コンデンサーの切り換え ○ TOH レポート8の視聴	

[illegible]

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 生物	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	3	通		生物 [生物701]
						なし

学習目標	・生物学的な事物・現象を観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 ・日常生活や社会の生物学的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 ・共通性と多様性をつなぐ進化 ・生命の誕生 ・生物の多様性と地球環境の変化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ ・遺伝的変異	○ 教科書P10～P29 ○ スクーリング重点解説 ・生物の多様性と共通性 ・生命の起源 ・突然変異	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
2	2	1編 生物の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ ・多様な突然変異をもたらす有性生殖 ・進化の定義と自然選択による進化 ・遺伝子レベルでみる進化 ・種分化	○ 教科書P30～P55 ○ スクーリング重点解説 ・遺伝の法則 ・減数分裂 ・ハーディ・ワインベルグの法則 ・遺伝子頻度	
3	3	1編 生物の進化 3章 生物の系統と進化 ・生物の系統 ・生物の系統分類 ・霊長類のなかのヒト ・人類の出現と変遷	○ 教科書P58～P79 ○ スクーリング重点解説 ・DNAの塩基配列に基づく系統樹 ・分子時計 ・生物の分類 ・ドメイン ・霊長類の特徴 ・類人猿とヒトの違い ・ヒトの出現	
4	4	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質 ・細胞を構成する成分 ・生体膜のはたらき ・細胞の構造 ・タンパク質の構造 ・酵素としてはたらくタンパク質 ・生命現象とタンパク質	○ 教科書P88～P123 ○ スクーリング重点解説 ・細胞を構成する成分 ・生体膜 ・細胞小器官 ・タンパク質の構造と性質 ・酵素	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	2篇 生命現象と物質 2章 代謝とエネルギー ・代謝とエネルギー ・呼吸 ・発酵 ・光合成	○ 教科書P128～P153 ○ スクーリング重点解説 ・ 化学反応とエネルギー ・ 代謝 ・ 呼吸(解糖系・クエン酸回路・電子伝達系) ・ 発酵(アルコール発酵・乳酸発酵・解糖) ・ 光合成(光化学系Ⅰ・Ⅱ・電子伝達系・カルビン・ベンソン回路)	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	6	3篇 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現 ・ DNAの構造 ・ DNAの複製 ・ 遺伝情報の流れ ・ RNAと転写 ・ 翻訳のしくみ ・ 遺伝情報の変化	○ 教科書P162～P185 ○ スクーリング重点解説 ・ DNAの構造 ・ DNAの複製 ・ バクテリオファージ ・ セントラルドグマ ・ 転写のしくみ ・ 真核生物のRNAの加工 ・ 翻訳のしくみ ・ 遺伝情報の変化	
7	7	3篇 遺伝情報の発現と発生 2章 発生と遺伝子発現 ・ 原核生物の遺伝子発現の調節 ・ 真核生物の遺伝子発現の調節 ・ 選択的遺伝子発現と細胞分化 ・ 動物の発生 ・ 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 ・ 発生現象と遺伝子発現の調節 ・ 動物の形と調節遺伝子の発現	○ 教科書P190～P231 ○ スクーリング重点解説 ・ 原核生物における遺伝子発現の調節 ・ 真核生物における遺伝子発現の調節 ・ ウニの発生 ・ カエルの発生 ・ 胚の予定運命と誘導 ・ ホメオティック遺伝子 ・ ホックス遺伝子	
8	8	3篇 遺伝情報の発現と発生 3章 遺伝子を扱う技術 ・ 遺伝子を増幅する技術 ・ 塩基配列を解読する技術 ・ 遺伝子組換え技術の利用 ・ 遺伝子や細胞を扱う技術の課題	○ 教科書P236～P255 ○ スクーリング重点解説 ・ PCR法 ・ 電気泳動法 ・ サンガー法 ・ 遺伝子組換え技術	

S	R	単 元	内 容	評 価
9	9	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 ・刺激の受容から反応への流れ ・ニューロンの興奮 ・興奮の伝導 ・興奮の伝達 ・刺激の受容と感覚 ・中枢神経系での情報処理 ・効果器 2章 動物の行動 ・動物の行動とは ・刺激の受容と行動 ・学習のしくみ	○ 教科書P264～P315 ○ スクーリング重点解説 ・刺激の受容から反応の流れ ・ニューロンの興奮 ・興奮の伝導と伝達 ・刺激の受容と感覚 ・動物の行動	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
10	10	4編 生物の環境応答 3章 植物の環境応答 ・被子植物の生殖と発生 ・植物の一生の出来事と環境の影響 ・植物ホルモンと光受容体 ・環境要因による発芽の調節 ・茎や根の成長と環境要因の影響 ・気孔の開閉の調節と環境要因の影響 ・花芽形成と環境要因の影響 ・果実の形成と成熟のしくみ ・器官の老化と脱落のしくみ	○ 教科書P318～P359 ○ スクーリング重点解説 ・被子植物の重複受精 ・植物ホルモンの種類と性質 ・環境要因における発芽の調節 ・日長と花芽形成 ・果実の形成と熟成	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
11	11	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 ・生態系からみた生物 ・個体群と環境 ・個体群の構造と成長 ・個体間の相互作用 ・種間の相互作用 ・生体群集の成り立ちと多種の共存	○ 教科書P370～P401 ○ スクーリング重点解説 ・個体群密度 ・生存曲線 ・個体群の相互作用 ・密度効果 ・種間の相互作用	
12	12	5編 生態と環境 2章 生態系の物質生産と物質環境 ・食物網と物質生産 ・生態系の物質収支と生体ピラミッド 3章 生態系と人間生活 ・生物多様性 ・人間社会の変化と生態系 ・生態系の復元 ・人間は自然とどう付き合っていけたらよいか	○ 教科書P406～P439 ○ スクーリング重点解説 ・生態系におけるエネルギーの流れ ・生態系内の物質の循環 ・生態系の物質収支 ・生体ピラミッド ・生物多様性 ・生態系の保全と人間生活	
		実習		

試験	2回	前期・中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	-------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【理科】 化学	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		4	2	通		化学 [化学701・702] なし

学習目標	・化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 物質の状態 1章 物質の状態 ・状態変化とエネルギー ・状態変化と分子間力 ・気体の圧力 ・気液平衡と蒸気圧 ・状態図 2章 気体の性質 ・ボイル・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・気体の分子量	○ 教科書P10～P37 ○ スクーリング重点解説 ・蒸気圧曲線 ・分子間の引力 ・気液平衡、状態図 ○ TOH レポート1の視聴 ・ボイル・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・混合気体の分圧 ・気体の分子量	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 レポート中の応用問題についての学習で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
2	2	3章 溶液の性質 ・溶解 ・濃度 ・結晶の析出 4章 固体の構造 ・金属結晶	○ 教科書P44～P81 ○ スクーリング重点解説 ・気体溶液の性質 ・気体の溶解度 ・コロイド溶液 ○ TOH レポート2の視聴 ・凝固点降下 ・浸透圧 ・金属結晶の構造	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 1節 反応とエンタルピー変化 ・化学反応と熱の出入り ・エンタルピーの変化 ・いろいろな反応エンタルピー 2節 ヘスの法則 ・ヘスの法則 ・結合エンタルピー	○ 教科書P90～P107 ○ スクーリング重点解説 ・反応エンタルピーの表し方 ・結合エンタルピーとは ○ TOH レポート3の視聴 ・ヘスの法則（総熱量保存の法則）	
4	4	2章 電池と電気分解 ・電池の原理 ・鉛蓄電池 ・燃料電池 2節 電気分解 ・電気分解 ・電気分解における反応 ・電気分解の法則	○ 教科書P112～P129 ○ スクーリング重点解説 ・電池と電気分解のしくみ ・ダニエル電池、鉛蓄電池 ・実用電池 ○ TOH レポート4の視聴 ・電気分解の法則（ファラデーの法則）	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 1節 反応の速さ ・ 反応の速さの表し方 2節 反応速度を変える条件 3節 反応のしくみ ・ 粒子の衝突 ・ 活性化エネルギー 2章 化学平衡 1節 可逆反応と化学平衡 ・ 平衡定数と化学平衡の法則	○ 教科書P134～P161 ○ スクーリング重点解説 ・ 反応の速さと温度・濃度・触媒 ・ 活性化状態 ・ 反応速度を変える条件 ○ TOH レポート5の視聴 ・ 反応速度の求め方 ・ 化学反応とエネルギーの変化	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 レポート中の応用問題についての学習で評価する。
6	6	2章 化学平衡 2節 平衡の移動 ・ 平衡移動の原理 3章 水溶液中の化学平衡 ・ 平衡定数	○ 教科書P162～P188 ○ スクーリング重点解説 ・ 電離平衡 ・ ハーバー・ボッシュ法 ・ 緩衝液 ○ TOH レポート6の視聴 ・ ルシャトリエの原理	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
7	7	4編 無機物質 1章 周期表と元素 1節 周期表と元素 ・ 元素の分類 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	○ 教科書P12～P57 ○ スクーリング重点解説 ・ 気体の発生 ・ アルカリ金属・アルカリ土類金属の反応 ○ TOH レポート7の視聴 ・ 塩素Cl ₂ の単体の製法・性質	
8	8	4章 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素の特徴 ・ 遷移元素の特徴 ・ 錯イオン 2節 遷移元素とその化合物 5章 金属イオンの分離と確認 1節 金属イオンが検出できる反応 2節 金属イオンの系統分離と確認	○ 教科書P67～P96 ○ スクーリング重点解説 ・ 遷移元素の特徴 ・ 遷移元素の反応 ・ 沈殿反応 ○ TOH レポート8の視聴 ・ 金属イオンの系統分離	

S	R	単 元	内 容	評 価
9	9	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 1節 有機化合物の特徴 2節 有機化合物の構造式の決定 2章 炭化水素 1節 飽和炭化水素 2節 不飽和炭化水素	○ 教科書P104～P130 ○ スクーリング重点解説 ・ 官能基 ・ 有機化合物の組成式・分子式・構造式 ・ 式の決定方法 ○ TOH レポート9の視聴 ・ アルケンの分子式決定 ・ 異性体	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 レポート中の応用問題についての学習で評価する。
10	10	5編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 1節 アルコールとエーテル 2節 アルデヒドとケトン 3節 カルボン酸 4節 エステル・油脂・セッケン	○ 教科書P140～P167 ○ スクーリング重点解説 ・ アルコールの構造と分類と性質 ・ アルコールの反応 ・ 油脂、高級脂肪酸の性質と反応 ○ TOH レポート10の視聴 ・ エステルの分析	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
11	11	4章 芳香族化合物 1節 芳香族炭化水素 2節 フェノール類と芳香族カルボン酸 3節 芳香族アミンとアゾ化合物 4節 芳香族化合物の分離	○ 教科書P172～P199 ○ スクーリング重点解説 ・ 芳香族炭化水素の反応 ・ アルコールとフェノール類の性質 ○ TOH レポート11の視聴 ・ 芳香族化合物の分離	
12	12	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 1節 高分子化合物の分類と特徴 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物	○ 教科書P216～P264 ○ スクーリング重点解説 ・ ナイロン、PET ・ イオン交換樹脂 ・ デンプンとセルロース ・ タンパク質とアミノ酸 ○ TOH レポート12の視聴 ・ 糖類の反応 ・ タンパク質の反応	
実習				

試験	2回	前期・後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	-------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地理歴史】 地理総合	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		地理総合 [地総701]
						新高等地図 [地図701]

学習目標	(1) 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や情報を調べまとめる技能を身に着ける。 (2) 各事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力やそれをもとに議論したりする力を養う。 (3) 地理的課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚を深める。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 ・ 緯度経度 ・ 地図 ・ 領土 第2章 地図や地理情報システムの役割 ・ GIS ・ 地形図 ・ 貿易 第3章 資料から読み取る現代世界 ・ 国際連携	○ 教科書P5～P49 ○ スクーリング重点解説 ・ 主題図 ・ 地形図 ○ TOH レポート1の視聴 ・ 地形図の読み取り	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 ・ 文化の地域的多様性 ・ 宗教 ・ 世界の小地形 ・ 世界の大地形	○ 教科書P56～P77 ○ スクーリング重点解説 ・ 生活文化 ・ 地理的環境 ・ 大地形 ○ TOH レポート2の視聴 ・ 自然環境と生活の営み	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 ・ 多様な気候 ・ 気候区分 ・ 気候と暮らし ・ 世界の農業 ・ 工業立地 ・ 情報産業	○ 教科書P78～P103 ○ スクーリング重点解説 ・ 気候区分 ・ 工業立地 ○ TOH レポート3の視聴 ・ 気候とは	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	4	第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 ・ 大気汚染 ・ 海洋汚染 ・ 森林破壊 ・ 砂漠化 ・ 資源エネルギー問題 ・ 再生可能エネルギー	○ 教科書P124～P135 ○ スクーリング重点解説 ・ 地球環境問題 ・ 資源エネルギー問題 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 森林減少、砂漠化	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	5	第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 ・ 発展途上国の人口問題 ・ 先進国の人口問題 ・ 日本の人口問題 ・ 食糧問題 ・ 居住都市問題 ・ 民族問題 ・ 国際協力 ・ SDGs	○ 教科書P136～P157 ○ スクーリング重点解説 ・ 人口問題 ・ SDGs ○ TOH レポート5の視聴 ・ 人口ピラミッド	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	6	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 ・ 日本の地形の特徴 ・ 日本の気候の特徴 ・ 地震津波 ・ 火山 ・ 気象災害 ・ 都市と自然災害 ・ 防災、減災 ・ SDGs	○ 教科書P176～P193 ○ スクーリング重点解説 ・ 防災 ・ 日本の地誌的理解 ○ TOH レポート6の視聴 ・ 自然災害	

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地歴】 歴史総合	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		新選歴史総合〔歴総701〕
						なし

学習目標	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	2章 近代化と私たち 2節 結び付く世界と日本の開国 ・18世紀の東アジア ・18世紀のヨーロッパとアジア ・産業革命のはじまり ・世界市場の形成 ・東アジア国際関係の変化と日本の開国	○ 教科書P28～P51 ○ NHK高校講座 世界史 「第25回 産業革命と社会問題」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・産業革命のはじまり ・東アジア国際関係の変化と日本開国 ○ TOH レポート1の視聴 ・18世紀のヨーロッパとアジア	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	3節 国民国家と明治維新 ・市民革命と近代社会 ・自由主義とナショナリズム ・アジアの諸国家とその変容 ・明治維新と東アジアの国際関係 ・立憲制の広まり ・帝国主義と植民地 ・日清戦争と華夷秩序の解体 ・帝国主義諸国の競合と国際関係	○ 教科書P52～P71 ○ NHK高校講座 日本史 「第30回憲法制定」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・帝国主義と植民地 ・日清戦争と華夷秩序の解体 ・帝国主義諸国の競合と国際関係 ○ TOH レポート2の視聴 ・市民革命と近代社会 ・自由主義とナショナリズム	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
2	3	3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2節 第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦の展開 ・国際協調体制の形成 ・ソヴィエト連邦の成立と社会主義 ・アメリカ合衆国の対等と大量消費社会 ・アジアの経済成長と移動する人々 ・反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 ・民主主義の拡大と社会変革の動き	○ 教科書P94～P109 ○ NHK高校講座 日本史 「第33回 大正デモクラシー」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・第一次世界大戦の展開 ・国際協調体制の形成 ○ TOH レポート3の視聴 ・反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 ・民主主義の拡大と社会変革の動き	

S	R	単 元	内 容	評 価
3	4	3節 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌 ・国際協調体制の崩壊 ・日中戦争と深刻化する世界の危機 ・第二次世界大戦の勃発 ・アジア太平洋戦争と日本の敗戦 ・連合国の占領政策と冷戦 ・再編されるアジアと冷戦	○ 教科書P112～P133 ○ NHK高校講座 世界史 「第33回 アジアの独立」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・世界恐慌 ・国際協調体制の崩壊 ○ TOH レポート4の視聴 ・世界恐慌	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
4	5	4章 グローバル化と私たち 2節 冷戦と世界経済 ・冷戦の拡大と第三勢力 ・キューバ危機と核兵器の管理 ・脱植民地化の進展と地域紛争 ・計画経済と開発 ・冷戦下の日本とアジア ・日本と欧米先進国の経済成長 ・地域連携の拡大 ・ベトナム戦争と冷戦構造の変容	○ 教科書P150～P169 ○ NHK高校講座 日本史 「第39回 国際社会への復帰と高度経済成長」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・日本と欧米先進国の経済成長 ・地域連携の拡大 ・ベトナム戦争と冷戦構造の変容 ○ TOH レポート5の視聴 ・計画経済と開発 ・冷戦下の日本とアジア	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
4	6	3節 世界秩序の変容と日本 ・問い直される近代 ・石油危機と経済の自由化 ・アジアの経済発展と日本 ・冷戦の終結と世界 ・拡散する地域紛争 ・民主化の進展 ・グローバル化と地域統合 ・岐路に立つ世界と日本	○ 教科書P170～P189 ○ NHK高校講座 日本史 「第40回 激変する世界と日本」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・石油危機と経済の自由化 ・岐路に立つ世界と日本 ○ TOH レポート6の視聴 ・冷戦の終結と世界 ・拡散する地域紛争	
実習				
-	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地理歴史】 地理探求	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	2	通		地理探求 [地探701]
						新高等地図 [地図701]

学習目標	(1) 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や情報を調べまとめる技能を身に着ける。 (2) 各事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力やそれをもとに議論したりする力を養う。 (3) 地理的課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚を深める。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 ・ 世界の地形 ・ 大地形 ・ 小地形	○ 教科書P12～P25 ○ スクーリング重点解説 ・ 営力 ・ 小地形 ○ TOH レポート1の視聴 ・ 海岸地形	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 ・ 気候と自然環境 ・ 降水 ・ 大気大循環 ・ 気圧帯 ・ 風 ・ 植生・土壌 ・ 気候区分 ・ 日本の自然環境と災害	○ 教科書P34～P65 ○ スクーリング重点解説 ・ 気圧帯 ・ 恒常風 ○ TOH レポート2の視聴 ・ 植生・土壌 ○ ハザードマップの活用	【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 ・ 世界の環境問題 第2章 産業と資源 ・ 農林水産業 ・ 食料問題	○ 教科書P66～P103 ○ スクーリング重点解説 ・ 農業 ・ 食糧問題 ○ TOH レポート3の視聴 ・ 水産業	
4	4	第1編 現代世界の系統地理的考察 第2章 産業と資源 ・ エネルギー ・ 鉱産資源 ・ 電力供給 ・ 資源エネルギー問題 ・ 工業立地 ・ 分業 ・ 第三次産業	○ 教科書P104～P141 ○ スクーリング重点解説 ・ 工業立地 ・ 工業 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 資源エネルギー問題	

S	R	単 元	内 容	評 価
5	5	第1編 現代世界の系統地理的考察 第3章 交通・通信、貿易、観光 ・ 交通 ・ 情報通信 ・ 貿易 ・ 経済連携 ・ 観光 第4章 人口、村落・都市 ・ 人口 ・ 人口移動・人口問題	○ 教科書P142～P167 ○ スクーリング重点解説 ・ 人口 ・ 人口問題 ○ TOH レポート5の視聴 ・ 交通通信	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
6	6	第1編 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 ・ 村落・都市 ・ 居住・都市問題 第5章 生活文化、民族・宗教 ・ 文化と環境 ・ 民族、言語、宗教 ・ 民族問題 ・ 国家と領土問題 ・ 人口問題	○ 教科書P168～P205 ○ スクーリング重点解説 ・ 都市の内部構造 ○ TOH レポート6の視聴 ・ 民族領土問題	【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
7	7	第2編 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 ・ 東アジア ・ 東南アジア ・ 南アジア	○ 教科書P216～P243 ○ スクーリング重点解説 ・ 中国 ○ TOH レポート7の視聴 ・ 南アジア	
8	8	第2編 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 ・ 西アジアと中央アジア ・ 北アフリカとサハラ以南アフリカ ・ ヨーロッパ	○ 教科書P244～P271 ○ スクーリング重点解説 ・ ヨーロッパ ○ TOH レポート8の視聴 ・ 西アジア・中央アジア	
9	9	第2編 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 ・ アングロアメリカ ・ ラテンアメリカ ・ オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 ・ 日本の地域構造 ・ 日本の国土政策 ・ 持続可能な国土像の探究	○ 教科書P272～P303 ○ スクーリング重点解説 ・ アングロアメリカ ・ 日本の地理的課題 ○ TOH レポート9の視聴 ・ オセアニア	

試験	2回	前後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	-----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地歴】 日本史探究 (2年生)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	2	通年		日本史探究[日探701]
						なし

学習目標	- 日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 - 日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 - 日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1編 先史・古代の日本と東アジア 1章 先史社会の生活と文化 ・旧石器時代の日本 ・縄文文化 ・弥生文化と小国家の形成	○ 教科書P8～P17 ○ NHK高校講座 日本史 「第1回 原始社会の生活と文化」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・弥生文化と小国家の形成 ○ TOH レポート1の視聴 ・旧石器時代日本	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
2	2	3章 古代社会の形成と展開 ・大和王権と古墳文化 ・飛鳥の朝廷と文化	○ 教科書P24～P31 ○ NHK高校講座 日本史 「第3回 大和王権の古墳文化」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・飛鳥の朝廷と文化 ○ TOH レポート2の視聴 ・大和王権と古墳文化	
3	3	3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開 ・律令国家の形成と白鳳文化 ・平城京と天平文化 2節 摂関政治と貴族文化 ・貴族社会と摂関政治 2編 中世の日本と世界 1章 中世社会の成立 ・朝廷政治の変容	○ 教科書P38～P67 ○ NHK高校講座 日本史 「第9回 院政と荘園」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・律令国家の形成と白鳳文化 ○ TOH レポート3の視聴 ・律令国家の形成と白鳳文化	
3	4	1章 中世社会の成立 ・武士の政治進出 3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷 ・鎌倉幕府の誕生 ・執権による政治 2節 武士支配の広がりや国際交流 ・南北朝の動乱と室町幕府の成立 ・室町時代の社会と経済活動	○ 教科書P70～P99 ○ NHK高校講座 日本史 「第14回 室町幕府の創設」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・南北朝の動乱と室町幕府の成立 ○ TOH レポート4の視聴 ・武士の政治進出	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	5	2節 武士支配の広がり国際交流 ・室町時代の社会と経済活動 ・自立する戦国大名 3編 近世の日本と世界 1章 近世社会の形成 ・織豊政権による全国統一	○ 教科書P100～P131 ○ NHK高校講座 日本史 「第18回 豊臣秀吉の全国統一」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・室町時代の社会と経済活動 ○ TOH レポート5の視聴 ・室町時代の社会と経済活動	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
5	6	3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 ・江戸幕府と大名・朝廷 ・武断政治から文治政治へ 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 ・享保の改革と経済の発展 ・幕藩体制の立て直し ・幕藩体制の動揺 4編 近現代の地域・日本と世界 1章 近代社会の幕開け ・開国と開港	○ 教科書P140～P191 ○ NHK高校講座 日本史 「第21回 幕府政治の進展と元禄文化」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・江戸幕府と大名・朝廷 ○ TOH レポート6の視聴 ・江戸幕府と大名・朝廷	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	7	1章 近代社会の幕開け ・幕府の崩壊と明治維新 3章 近現代社会の展開 ・対外関係の変容と日清戦争 ・日露戦争と帝国日本 ・国際社会のなかの日本	○ 教科書P196～P251 ○ NHK高校講座 日本史 「第31回 日清戦争」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・幕府の崩壊と明治維新 ○ TOH レポート7の視聴 ・日露戦争と帝国日本	
7	8	4節 第二次世界大戦と日本 ・昭和恐慌と立憲政治の動揺 ・中国侵略と戦時体制への移行 ・戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開 5節 占領と改革 ・占領と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と経済復興	○ 教科書P254～P278 ○ NHK高校講座 日本史 「第38回 占領と国内改革」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開 ・占領と日本国憲法の成立 ○ TOH レポート8の視聴 ・昭和恐慌と立憲政治の動揺	
8	9	6節 国際社会への復帰と高度経済成長 ・国際社会への復帰と対米協調 ・高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 ・1970年代の国際社会と日本 ・安定成長への転換 8節 新しい国際秩序と日本の課題 ・激変する世界と日本 ・21世紀の日本	○ 教科書P280～P305 ○ NHK高校講座 日本史 「第39回 国際社会への復帰と高度経済成長」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・国際社会への復帰と対米協調 ・高度経済成長 ○ TOH レポート9の視聴 ・国際社会への復帰と対米協調	
実習				
-	-			

試験	2回	前後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	-----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地歴】 日本史探究 (3年生)	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	3	通年		日本史探究[日探701]
						なし

学習目標	- 日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 - 日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 - 日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	○政治史① 【1】律令国家の形成 【2】平城京の造営と地方支配、 土地政策の転換 【3】平安初期～中期の政治 【4】院政期の公領の変化、寺社勢力の 拡大、武士の成長	○教科書 【1】P34～【2】P41～【3】P50～【4】P67～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第6回 平安初期～中期の政治」視聴 ○スクーリング重点解説 ・平安初期～中期の政治 ○TOH レポート1の視聴 ・律令国家の形成	観点別評価は、下記の観点別に対して ABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づ き評価する
2	2	○政治史② 【1】江戸幕府の崩壊 【2】明治時代の政治 【3】立憲政治の成立 【4】明治時代後半から大正時代の政治	○教科書 【1】P192～【2】P210～ 【3】P218～【4】P225、238～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第30回 立憲政治の成立」視聴 ○スクーリング重点解説 ・明治時代後半から大正時代の政治 ○TOH レポート2の視聴 ・江戸幕府の崩壊	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題 及びスクーリング重点解説課題の成果に 基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課 題の成果に基づき評価する
3	3	○生活史・経済史① 【1】鎌倉時代の生活 【2】室町・戦国時代の生活 【3】近世の身分と人々の暮らし 【4】江戸時代の社会経済	○教科書 【1】P92～【2】P106～ 【3】P145～【4】P158～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第21回 江戸時代の社会経済」視聴 ○スクーリング重点解説 ・鎌倉時代の生活・江戸時代の社会経済 ○TOH レポート3の視聴 ・鎌倉時代の生活	
3	4	○生活史・経済史② 【1】18～19世紀の江戸時代の生活 【2】1800年代後半の日本の産業革命期 【3】中国侵略と戦時体制への移行 【4】高度経済成長からバブル崩壊後の 日本	○教科書 【1】P166～185【2】P226～ 【3】P260～【4】P286～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第37回 中国侵略と戦時体制への移 行」視聴 ○スクーリング重点解説 ・高度経済成長からバブル崩壊後 ○TOH レポート4の視聴 ・18～19世紀の江戸時代の生活	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	5	○外交史① 【1】遣唐使について 【2】日宋貿易とモンゴル襲来 【3】室町時代の社会(貿易関連) 【4】南蛮貿易とキリスト教の布教	○教科書 【1】P44～【2】P72、90～ 【3】P102～【4】P124～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第14回 室町時代の社会」視聴 ○スクーリング重点解説 ・日宋貿易とモンゴル襲来 ○TOH レポート5の視聴 ・遣唐使	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
5	6	○外交史② 【1】江戸時代初期の貿易と鎖国 【2】18世紀末～19世紀初頭の政治 【3】条約改正交渉 【4】ワシントン体制と協調外交 【5】田中義一内閣の対中強硬政策	○教科書 【1】P150～【2】P176～ 【3】P222～【4】P252～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第23回 18世紀末～19世紀初頭の政治」視聴 ○スクーリング重点解説 ・条約改正交渉 ○TOH レポート6の視聴 ・江戸時代初期の貿易	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	7	○文化史① 【1】飛鳥文化 【2】白鳳文化 【3】天平文化 【4】弘仁・貞観文化 【5】国風文化・院政期の文化	○教科書 【1】P32～【2】P36～【3】P47～ 【4】P52～【5】P60～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第7回 天平、弘仁・貞観、国風文化」視聴 ○スクーリング重点解説 ・弘仁・貞観文化 ○TOH レポート7の視聴 ・飛鳥文化・白鳳文化	
7	8	○文化史② 【1】鎌倉文化 【2】室町文化・戦国期の文化 【3】桃山文化 【4】寛永文化 【5】元禄文化	○教科書 【1】P94～【2】P116～【3】P132～ 【4】P144～【5】P163～ ○NHK高校講座 日本史探究 「第16回 鎌倉から戦国の文化・宗教」視聴 ○スクーリング重点解説 ・元禄文化 ○TOH レポート8の視聴 ・鎌倉文化	
8	9	○文化史③ 【1】江戸時代中期から幕末までの文化 【2】近代の文化 【3】第一次世界大戦前後の文化 【4】戦後文化	○教科書 【1】P170～、177～【2】P230～ 【3】P242～【4】P278～、P288～、P298 ○NHK高校講座 日本史探究 「第25回 江戸時代の文化」視聴 ○スクーリング重点解説 ・近代の文化 ○TOH レポート9の視聴 ・戦後文化	
実習				
-	-			

試験	2回	前・中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	------	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R07年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【地歴】 世界史探究	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		3	3	通		世界史探究[世探701]
						なし

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	【1】エーゲ文明・ギリシア文明について 【2】ローマの共和制・帝政について 【3】キリスト教について 【4】西ヨーロッパ世界の成立	○ 教科書 【1】P33～41【2】P45～50 【3】P50～52【4】NHK ○ NHK高校講座 世界史探究 第9回視聴 ○ スクーリング重点解説	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	【1】ノルマン人の活動について 【2】封建社会について 【3】十字軍について 【4】中世後半のイギリス・フランスについて	○ 教科書 【1】P124～125【2】P125～126 【3】NHK【4】P138～139 ○ NHK高校講座 世界史探究 第10回視聴 ○ スクーリング重点解説	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	【1】メソポタミア文明について 【2】エジプト文明について 【3】アケメネス朝ペルシアについて 【4】ローマ帝国について	○ 教科書 【1】P27～28【2】P28～29 【3】P38～39【4】NHK ○ NHK高校講座 世界史探究 第2回視聴 ○ スクーリング重点解説	
3	4	【1】西アジア・中東の新展開について 【2】イスラーム世界の発展について 【3】シーア派とスンナ派について 【4】モンゴル・オスマン帝国について	○ 教科書 【1】NHK【2】P58～60 【3】P114～116【4】P155、188～189 ○ NHK高校講座 世界史探究 第11回視聴 ○ スクーリング重点解説	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	5	【1】東アジアの文化について 【2】東アジアの古代帝国について 【3】中国の分裂と多様化について 【4】隋唐帝国について	○ 教科書 【1】P33～34【2】P79～81 【3】NHK【4】P89～92 ○ NHK高校講座 世界史探究 第6回視聴 ○ スクーリング重点解説	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
5	6	【1】宋について 【2】元・明・清について 【3】南アジアにおける国家形成について 【4】イスラームのインドとインド洋海域への浸透について	○ 教科書 【1】P146～149【2】NHK 【3】P31～32、66～67【4】P70、161 ○ NHK高校講座 世界史探究 第11回視聴 ○ スクーリング重点解説	
6	7	【1】一体化に向かう世界について 【2】主権国家・宗教革命について 【3】産業革命について 【4】アメリカ合衆国の独立とフランス革命について	○ 教科書 【1】P179～182【2】P203～206 【3】P233～234【4】NHK ○ NHK高校講座 世界史探究 第21回視聴 ○ スクーリング重点解説	
7	8	【1】列強の覇権争いについて 【2】第一次世界大戦について 【3】世界恐慌について 【4】第二次世界大戦について	○ 教科書 【1】P273～276【2】P299～302 【3】P319～321【4】NHK ○ NHK高校講座 世界史探究 第29回視聴 ○ スクーリング重点解説	
8	9	【1】冷戦の形成について 【2】冷戦下の東西について 【3】冷戦終結とソ連の解体について 【4】21世紀の諸課題について	○ 教科書 【1】P332～335【2】P360～362 【3】P372～373【4】NHK ○ NHK高校講座 世界史探究 第38回視聴 ○ スクーリング重点解説	
実習				
-	-			

試験

2回

前・中期

教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【公民】 公共	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	1	通		公共 [公共701]
						なし

学習目標	① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や議論する力を養う。 ③ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについて理解を深める。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	第1部 公共のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち (1) 現代に生きる青年 1 青年期と自己形成の課題 2 自己形成と社会への参画 (2) 社会的な関係のなかで生きる人間 1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかの人間 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理 1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理	教科書P10-30 ・スクーリング重点解説 ○青年期と自己形成 ○生命倫理について考える ○人間としての在り方生き方探求	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 教科書の課題学習やスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開	教科書P36-54 ・スクーリング重点解説 ○近代政治の原理と民主主義について ○日本国憲法と大日本帝国憲法 ○基本的人権について ○新しい人権 ○男女共同参画社会の実現にむけて	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	教科書P58-80 ・スクーリング重点解説 ○政治とは何か ○国会の仕組みと役割 ○天下りについて ○政治参加と選挙	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	1	第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割 1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用 テーマ2 市民生活と私法 1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 テーマ3 国民の司法参加 1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義	教科書P84-108 ・スクーリング重点解説 ○法と私たちの生活 ○法の分類 ○消費者の権利と責任 ○司法の仕組みと役割	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 教科書の課題学習やスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	2	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 テーマ2 市場経済における金融の働き 1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化 テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度 1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれから	教科書P112-144 ・スクーリング重点解説 ○消費支出 ○需要と供給 ○国民所得 ○日本の財政 ○日本の社会保障	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	3	第4章 私たちの職業生活 テーマ1働くことの意義と職業選択 1 働くということ 2 多様な職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 国際社会のルールとしくみ 1 国際社会の成り立ち 2 国際連合の役割 テーマ2 国際社会と平和主義 1 日本の平和主義と冷戦 2 冷戦後の世界と日本 テーマ3 国際平和への課題 1 現代の紛争とその影響 2 平和な国際社会に向けて 1 貿易のしくみ 2 国際金融のしくみと動向 3 グローバル化と今日の国際経済 4 国際経済の諸課題	教科書P146-196 ・スクーリング重点解説 ○働くことの意義と職業選択 ○労働者の権利 ○現代の雇用・労働問題 ○国際連合について ○SDG'sについて	
-	-			

試験	1回	後期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【公民】 政治経済	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍
		2	3	通		政治・経済[政経311]
						なし

学習目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原則 ・民主政治の成立 ・世界のおもな政治体制 2節 日本国憲法の基本原則 ・日本国憲法の制定と基本原則 ・基本的人権の確立	○ 教科書P6～P47 ○ スクーリング重点解説 ・日本国憲法の制定と基本原則 ・基本的人権について ○ TOH レポート1の視聴 ・日本国憲法の制定と基本原則	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
2	2	3節 日本の政治機構 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治	○ 教科書P48～P65 ○ スクーリング重点解説 ・国会と立法・司法権の独立 ○ TOH レポート2の視聴 ・国会と立法 ・裁判所と司法	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	5節 現代の国際政治 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・地球環境と資源・エネルギー問題 2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ・資本主義体制の成立 ・資本主義経済の発展と変容 ・新自由主義	○ 教科書P82～P119 ○ スクーリング重点解説 ・国際社会と国際法 ・戦後の国際政治 ○ TOH レポート3の視聴 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題	

S	R	単 元	内 容	評 価
4	1	2節 現代経済のしくみ ・産業のしくみと企業 ・市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・財政のしくみと機能 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ・経済再建から高度成長へ ・オイル・ショック後の日本経済 ・日本経済の現状	○ 教科書P124～P155 ○ スクーリング重点解説 ・寡占と独占 ○ TOH レポート4の視聴 ・金融のしくみと機能	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する
5	2	4節 福祉社会と日本経済の課題 ・公害と環境保全 ・消費者問題 ・農業・食糧問題 ・中小企業の現状と課題 ・雇用と労働問題 ・社会保障と福祉	○ 教科書P158～P181 ○ スクーリング重点解説 ・公害と環境問題 ・社会保障 ○ TOH レポート5の視聴 ・消費者問題 ・農業・食糧問題	【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
6	3	5節 国民経済と国際経済 ・貿易と国際収支 ・国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済 ・地域主義の動き	○ 教科書P184～P199 ○ スクーリング重点解説 ・戦後の国際経済 ○ TOH レポート6の視聴 ・国際経済体制の展開	
実習				
-	-			

試験	1回	前期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【家庭】 家庭基礎	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍 家基701 なし
		2	3	通		

学習目標	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につけるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から自己の課題を見出し、学習を活用して課題を解決する力を養う。 (3) よりよい社会の構築に向けて主体的に参画しようとする態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 生涯を見通す ・ 人生を展望する 2章 人生を作る ・ 家族・家庭を見つめる ・ 家族と法律 3章 子どもと共に育つ ・ 子どもの育つ力を知る ・ 子どもと関わる ・ これからの保育環境	○ 教科書P14～61 ○ NHK高校講座 家庭総合 「第7回二択で行き詰った！そんなときは？」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 自立について ・ 家族と法律 ○ TOH レポート1の視聴 ・ 子どもの育つ力	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果、NHK高校講座から出題している課題に基づき評価する 【思考・判断・表現】 スクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
2	2	4章 超高齢社会を共に生きる ・ 高齢期の心身の特徴 ・ これからの超高齢社会 ・ 介護保険と介護サービス 5章 共に生きる、共に支える ・ リスクに備える 6章 経済生活を営む ・ 家計をマネジメントする	○ 教科書P64～85 P164～179 ○ NHK高校講座 家庭総合 「第15回『助ける』立場？『頼る』立場？」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 高齢期の心身の特徴 ・ 防災について ○ TOH レポート2の視聴 ・ 収入と支出の構成	
3	3	7章 食生活をつくる ・ 食生活の課題について考える ・ 食事と栄養 ・ 食品の選択と安全 ・ 食品表示について ・ 食生活の文化と知恵 ・ 食品ロス ・ これからの食生活	○ 教科書P86～131 ○ NHK高校講座 家庭総合 「第24回 食べられるのが当たり前」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 食生活の課題について考える ・ 食品表示 ・ 食品ロス ○ TOH レポート3の視聴 ・ 食品の衛生と安全	
4	4	8章 衣生活をつくる ・ 被服の役割を考える ・ 被服と表示 ・ 被服材料の性能 ・ 被服の手入れ 9章 住生活をつくる ・ 平面図を理解する ・ 住居の防災 ・ 健康な住生活 ・ これからの住生活	○ 教科書P134～161 P164～179 ○ NHK高校講座 家庭総合 「第32回 どんな部屋で暮らしたい？」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 平面図を理解する ・ ユニバーサルデザイン ○ TOH レポート4の視聴 ・ 被服と表示	
実習	調理実習		○ 調理の基礎	
2	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【情報】 情報 I	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍 新編情報I [情I701] なし
		2	1	通		

学習目標	(1) 効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに, 情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え, 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに, 情報社会に主体的に参画する態度を養う。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 情報で問題を解決する ・ 情報とメディアの特性 ・ 問題解決の流れ ・ 発想法 ・ 情報モラル ・ 個人情報流出 ・ 傷つかない傷つけないために ・ 著作権 ・ 情報技術の発展 ・ 情報化と私たちの生活の変化 ・ よりよい情報社会へ	○ 教科書P5～P32 ○ NHK高校講座 情報 I 「第3回 ネット社会にも権利がある視聴」 ○ スクーリング重点解説 ・ ブレーンストーミング ・ 個人情報 ○ TOH レポート1の視聴 ・ デジタルデバインド	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	2章 情報を伝える ・ コミュニケーション手段の変化 ・ ネットコミュニケーションの特徴 ・ デジタルの世界へ ・ 数値と文字のデジタル表現 ・ 音と画像のデジタル表現 ・ 色と動画のデジタル表現 ・ 目的に応じたデジタル化 ・ 情報デザイン ・ ユニバーサルデザイン ・ 情報デザインの流れ	○ 教科書P33～P60 ○ NHK高校講座 情報 I 「第7回 ようこそデジタルの世界へ！」 視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ フェイクニュース ・ バリアフリーとユニバーサルデザイン ○ TOH レポート2の視聴 ・ 2進数、10進数	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	3章 コンピュータを活用する ・ コンピュータとは何か ・ ソフトウェアの仕組み ・ 演算の仕組みとコンピュータの限界 ・ アルゴリズムの表現 ・ プログラムの基本構想1・2 ・ 発展的なプログラム1・2 ・ モデル化とシミュレーション ・ シミュレーションの活用	○ 教科書P61～P88 ○ NHK高校講座 情報 I 「第13回 プログラミングの基本をマスター！」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 五大装置 ・ 基本論理回路 ○ TOH レポート3の視聴 ・ シミュレーション	
4	4	4章 データを活用する ・ ネットワークとインターネット ・ インターネットの仕組み ・ サーバとクライアント ・ インターネット上のサービス ・ 情報セキュリティ ・ データの形式 ・ データベースの活用 ・ さまざまなデータモデル ・ データ分析の流れ ・ 目的に合わせたデータの利用	○ 教科書P89～P116 ○ NHK高校講座 情報 I 「第6回 ネットで変わるコミュニケーション」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ クラウドサービス ・ 目的に合わせたデータの利用 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式	
実習		PC実習	○ 文書デザイン検定3級問題を用いたWord演習	
4	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【情報】 情報Ⅱ	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京書籍 新編情報Ⅱ [情Ⅱ701] なし
		2	2	通		

学習目標	(1) 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	「資料編」 ・情報Ⅰの振り返り 「実習編」	○ 教科書P132～P154、P2～P52 ○ NHK高校講座 情報Ⅰ 「第8回 デジタルデータで表現しよう!」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 2進数、10進数、16進数応用問題 ・ メールを送信する際のルール ○ TOH レポート1の視聴 ・ 2進数、10進数、16進数	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	「理論編」 ・情報社会の進展と情報技術 ・コミュニケーションの多様化 ・人間の知的活動への影響 ・メディアの特性と利用 ・コンテンツの制作 ・コンテンツの発信	○ 教科書P54～P75 ○ NHK高校講座 情報Ⅰ 「第4回 デジタル革命とインターネット」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ コミュニケーションの多様化 ・ インフォデミック ○ TOH レポート2の視聴 ・ コンテンツの発信	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	「理論編」 ・社会にあふれるデータ ・データベースの管理と操作 ・データの収集と整理 ・データの分析と分類 ・モデルの評価と検証 ・機械学習と人口知能	○ 教科書P76～P91 ○ NHK高校講座 情報Ⅰ 「第18回 データ分析にチャレンジ!」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ データベース応用問題 ・ データ及び欠損値について ○ TOH レポート3の視聴 ・ データベースの演算	
4	4	「理論編」 ・情報システム ・情報セキュリティ技術 ・情報システムの設計 ・情報システムのプログラム 「活用編」	○ 教科書P92～P131 ○ NHK高校講座 情報Ⅰ 「第19回 データが社会を動かす!」視聴 ○ スクーリング重点解説 ・ 情報システムの設計 ・ 協同学習 ・ web会議システムの利用 ○ TOH レポート4の視聴 ・ 言語プロセッサ	
実習		PC実習	○ 情報処理検定検定3級問題を用いたExcel演習	
4	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【情報】 情報の科学	単位数	年次	履修	教科書	東京書籍
		2	3	通	副教材	情報の科学 [情科306] なし

学習目標	情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	- 情報のデジタル化 - 数値と文字の表現 - 新しい技術や仕組み - コンテンツの構成 - 処理の仕組み	- 教科書P8～P27 - NHK高校講座 情報Ⅰ「第3回ネット社会にも権利がある」視聴 - スクーリング重点解説 2進数、10進数、16進数応用問題 - ASCIIコード - TOH レポート1の視聴 2進数、10進数、16進数	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	- 論理回路 - 情報通信ネットワークの構成 - ネットワークの利用-WWW - 大規模情報の蓄積と管理(情報管理システムの種別)	- 教科書P28～P41 - NHK高校講座 情報Ⅰ「第7回 よこそデジタルの世界へ！」視聴 - スクーリング重点解説 - 基本論理回路 - 半加算器 - TOH レポート2の視聴 - 論理回路	【思考・判断・表現】 NHK高校講座から出題している課題及びスクーリング重点解説課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 TOHにて視聴したうえで取り組む課題の成果に基づき評価する
3	3	- 大規模情報の蓄積と管理(データベースにおける検索) - 解決方法の選択 - 社会の情報化と生活の変化	- 教科書P42～P65、P76～79 - NHK高校講座 情報Ⅰ「第13回プログラミングの基本をマスター！」視聴 - スクーリング重点解説 - データベース応用問題 - TOH レポート3の視聴 - データベースの演算	
4	4	- アルゴリズム - セキュリティの重要性 - 情報社会の安全とルール - 新たなコミュニティ	- 教科書P66～P69、P80～100 - NHK高校講座 情報Ⅰ「第6回 ネットで変わるコミュニケーション」視聴 - スクーリング重点解説 - フローチャート - 新たなコミュニティ - TOH レポート4の視聴 - アルゴリズム	
実習	PC実習		情報処理検定検定2級問題を用いたExcel演習	
4	-			

試験	1回	中期	教科書・添削課題・面接指導内容を試験範囲とする
----	----	----	-------------------------

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【芸術】 美術 I	単位数	年次	履修	教科書 副教材	日本文教出版
		2	2	通		高校生の美術(美 I -702)
						なし

学習目標	絵を描いたりものをつくったりする表現活動においても、何かを描こうとしたりつくろうとしたときに、自分が培ってきたイメージや考えなどが働いた作品に表現される。この教科の学びの中で、描く、つくる、見る活動を通して、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けていく。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価により行う
---------	------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	・絵画 人物を描く ・資料 さまざまな描画材料 いろいろな絵の具 鉛筆デッサン 水彩画を描く 油彩画を描く	1. 色々な道具を使い、自画像の作成を行う 2. 水彩画を描く 3. 油絵の鑑賞 4. マンダラートをもとに自画像を描かせる	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する
2	2	・絵画 浮世絵版画の魅力 漫画の表現 ・映像メディア表現 アニメーションの手法 ・資料 アニメーションの基礎	1. 浮世絵について 2. 漫画の表現について 3. 背景画について	【思考・判断・表現】 取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき判断する
3	3	・デザイン イラストレーションの魅力 パッケージデザイン ・資料 色彩	1. 色彩について考える 2. パッケージデザインについて考える	

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

S	R	単 元	内 容	評 価
			1. 美の秩序について考える 2. 近代デザイン史について考える 3. 暮らしの中で使う道具のデザインについて考える	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき判断する
			1. 映像メディア史について考える 2. アニメーションの手法を使ってメタモルフォーゼについて考える	
実習				
-	-			

試験	-	-	-
----	---	---	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【商業】 ビジネス基礎	単位数	年次	履修	教科書 副教材	東京法令出版
		2	3	通年		ビジネス基礎 [商業702] なし

学習目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技能を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導及び試験のほか、放送その他の多様なメディアを利用した指導
---------	---------------------------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価と試験により行う
---------	---------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	第1章 商業の学習とビジネス 1. 商業を学ぶ重要性和学び方 ・商業を学ぶ重要性 ・商業の学習分野と職業 2. ビジネスの役割 ・ビジネスの企業の社会的責任 ・ビジネスの発展と諸活動 3. ビジネスの動向と課題 ・経済環境の変化とビジネス ・ビジネスの課題	○教科書 P1～P16 ○スクーリングの重点解説 ・企業の社会的責任 ・情報化とビジネス ・サービス経済化 ・情報技術の進歩とビジネス	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき判断する
2	2	第3章 経済と流通 1. 経済の基本概念 ・経済生活と経済の仕組み ・市場と価格 2. 流通の意義と役割 ・流通の必要性 ・商品の種類 ・商品の流通経路 ・今日の流通	○教科書 P55～P70 ○スクーリングの重点解説 ・市場と価格 ・流通経路 ・ビジネス活動 ・輸送方法 ・物流システム	
3	3	第2章 ビジネスに対する心構え 1. 信頼関係の構築 ・望ましい信頼関係を構築することの意義 ・ビジネスマナーの意義と必要性 ・基本的なビジネスマナー ・ホスピタリティ 2. 良好な人間関係とコミュニケーション ・良好な人間関係とコミュニケーション ・企業内外のコミュニケーション	○教科書 P22～P51 ○スクーリングの重点解説 ・ビジネスマナー ・コミュニケーション ・対外的コミュニケーション ・情報収集	
4	4	第4章 企業活動 1. 企業の形態と組織 ・経営理念 ・企業の種類 2. 企業のマーケティング活動 ・マーケティングの重要性 ・マーケティングの流れ 3. 財務諸表の役割 ・財務諸表の目的と役割 ・申告と納税	○教科書 P112～P138 ・経営理念 ・企業形態 ・マーケティング ・財務諸表 ・税の申告	
実習	なし		なし	
	-			

試験	なし		
----	----	--	--

※ 用語について、Sは面接指導時間（スクーリング）、Rは添削課題（レポート）、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日（必要に応じて）は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【商業】 情報処理(B)	単位数	年次	履修	教科書	東京法令出版
		2	2	通	副教材	情報処理 [商業717] なし

学習目標	ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及びPC実習による指導
---------	----------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価とPC演習により行う
---------	-----------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	1章 企業活動と情報処理 ・ 情報処理の重要性とその活用 ・ 情報技術の進歩と情報システムの活用 ・ 情報デザインの構成要素 実技:表計算4級の問題を用いたExcelの演習	○ 教科書P2～P19 ○ スクーリング重点解説 ・ POSシステム・ICカード ・ 電子商取引 ・ 情報デザイン ○ 演習1 ・ エクセルの使い方 ・ 計算式の入力方 ・ 合計平均等の関数	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 PC演習にて取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 PC演習にて積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき評価する
2	2	1章 企業活動と情報処理 ・ 情報モラル ・ 知的財産の保護と管理 ・ 個人情報の保護と管理 実技:表計算3級の問題を用いたExcelの演習	○ 教科書P24～P32 ○ スクーリング重点解説 ・ 知的財産 ・ 個人情報 ○ 演習2 ・ 前回の復習 ・ 切り上げ・切り捨ての関数 ・ IF(判断文)関数	
3	3	3章 情報の集計と分析 ・ 表とグラフの基礎 ・ 表計算ソフトウェアの基礎 ・ 表計算ソフトウェアのグラフ作成 実技:表計算3級の問題を用いたExcelの演習	○ 教科書P112～P143 ○ スクーリング重点解説 ・ 算術演算子 ・ 比較演算子 ・ グラフの基礎知識 ○ 演習3 ・ 前回の復習 ・ RANK関数	
4	4	3章 情報の集計と分析 ・ 関数を用いた情報の分析 ・ 整列、検索、抽出機能を用いた情報の分析 実技:表計算3級の問題を用いたExcelの演習	○ 教科書P143～P197 ○ スクーリング重点解説 ・ IF関数・ 数学に関する関数の活用 ・ 日付と時刻に関する関数の活用 ・ データベース関数の活用 ○ 演習4 ・ 前回の復習 ・ 絶対参照	
実習		PC実習	○Excel3級	
4	-			

試験	—	—	—
----	---	---	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	【商業】 情報処理(A)	単位数	年次	履修	教科書	東京法令出版
		2	3	通	副教材	情報処理 [商業717] なし

学習目標	ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
------	---

通信教育の方法	添削指導、面接指導及びPC実習による指導
---------	----------------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価とPC演習により行う
---------	-----------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1 コンピュータの基本的な機能と五大装置 2 パソコンのハードウェア 3 データの表現と処理のしくみ 4 パソコンのソフトウェア 5 ファイル管理 実技:プレゼン作成検定3級の問題を用いたPowerPointの演習	○ 教科書P34～55 ○ スクーリング重点解説 ・ 五大装置のしくみ ・ ハードウェア・インタフェース ・ 記憶容量・拡張子 ○ 演習1 ・ PowerPointの使い方 ・ スライド挿入・テキストボックス	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 PC演習にて取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 PC演習にて積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき評価する
2	2	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1 電子メールの活用 2 情報の信頼性と信憑性 3 情報セキュリティを脅かすリスク 4 情報セキュリティを確保する方法 実技:プレゼン作成検定3級の問題を用いたPowerPointの演習	○ 教科書P74～P89 ○ スクーリング重点解説 ・ 電子メール ・ 情報の信頼性と信憑性 ・ 情報セキュリティ対策 ○ 演習2 ・ 表作成・アニメーション効果	
3	3	3章 情報の集計と分析 1 問題解決のプロセス 2 問題の発見から解決まで 4章 ビジネス文章の作成 3 わかりやすい文章 4 敬語表現の必要性 実技:プレゼン作成検定3級の問題を用いたPowerPointの演習	○ 教科書P198～P209,P218～227 ○ スクーリング重点解説 ・ 絶対参照と端数処理 ・ グラフの構成要素 ・ 発展的な関数 ○ 演習3 ・ 前回の復習 ・ 画像の挿入・図形の挿入	
4	4	4章 ビジネス文章の作成 1 ビジネス文書の種類と基本的な構成 5章 プレゼンテーション 2 話し方の技術 3 効果的なスライドの設定 実技:プレゼン作成検定3級の問題を用いたPowerPointの演習	○ 教科書P244～P299 ○ スクーリング重点解説 ・ データベース関数 ・ 全数調査と標本調査・回帰分析 ・ 変動パターンの傾向変動 ○ 演習4 ・ アニメーション効果 ・ 印刷	
実習		PC実習	○PowerPoint	
4	-			

試験	—	—	—
----	---	---	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	総合的探究の時間 (2年生)	単位数	年次	履修	教科書	
		2	2	通	副教材	

学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。(2)実社会や実生活と自己との関わりから問を見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
------	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導による指導
---------	----------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価により行う
---------	------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	テーマ 自分の名刺(偏愛マップ)を作ろう	- 自分の心を開く(自己開示)ことの重要性を考える - 会話が弾むためには何が必要なのか	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき判断する
2	2	テーマ 自己PRについて考えてみよう	- 同じ事象の言い方を比べてみて、どのように感じるかを考えよう - 自分の強みを考え、表現する機会にしよう	
3	3	テーマ 人や社会とのつながりについて考えてみよう	- ある1日を振り返って、自分が人や社会とどのようにつながってるのかを考えてみよう - 人や社会とのつながりを通して、身の回りにある職業に注目してみよう	
4	4	テーマ ①学校の所在地である福岡市について、改めて考えてみる ②地域と自分との関りについて考える	- 自分たちが暮らす福岡県のことについて考える機会とし、住みやすい県であるためにはどのようなことが必要か考える機会とする - どんな街であれば、住み続けたいと思うかを考える	
実習				
4	-			

試験	—	—	—
----	---	---	---

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示

R7年度 通信教育実施計画

つくば開成福岡高等学校

【教科】 ・ 科目	総合的探究の時間 (3年生)	単位数	年次	履修	教科書	
		1	3	通	副教材	

学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。(2)実社会や実生活と自己との関わりから問を見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。					
------	--	--	--	--	--	--

通信教育の方法	添削指導、面接指導による指導
---------	----------------

単位修得の認定	教員が行う平素の添削指導、面接指導時の学習評価により行う
---------	------------------------------

S	R	単 元	内 容	評 価
1	1	テーマ ①気持ちのよい挨拶をマスターしよう ②相手に与える印象について考えてみよう	・気持ちのよい挨拶を習得する ・印象の大切さについて考える ・プラスの言葉を発する習慣を身に付ける	観点別評価は、下記の観点別に対してABCの3段階で評価する 【知識・技能】 主にレポートの学習内容・成果に基づき評価する 【思考・判断・表現】 取り組む課題の成果に基づき評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組む姿勢や周囲と協力して課題作成に臨む態度に基づき判断する
2	2	テーマ ①持続可能な開発目標(SDGs)「3健康と福祉」について知る ②世界の現状に目を向け、改めて自分の日常生活を振り返る機会とする	・持続可能な開発目標「3健康と福祉」に目を向け、全ての人が健康的な生活を確保できるようにするための多様な視点で物事を見ることを目指す ・健康をテーマにすることで、日常生活を振り返り、改めて「健康と福祉」の現状について考える機会とする	
実習				
4	-			

試験	なし		
----	----	--	--

※ 用語について、Sは面接指導時間(スクーリング)、Rは添削課題(レポート)、TOHは「つくばオンラインHT」

※ 添削課題の提出日、面接指導の実施日、試験の実施日、報告課題の提出日(必要に応じて)は、クラスごとの行事学習計画表に明示